

# 日本気象学会 2011 年度秋季大会

会期：2011年11月16日（水）～18日（金）

会場：名古屋大学東山キャンパス 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 <http://www.nagoya-u.ac.jp>

大会実行委員会担当機関：名古屋地方気象台，名古屋大学，日本気象協会中部支社

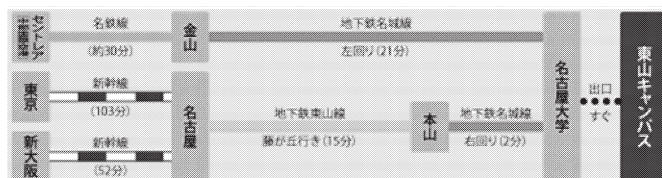
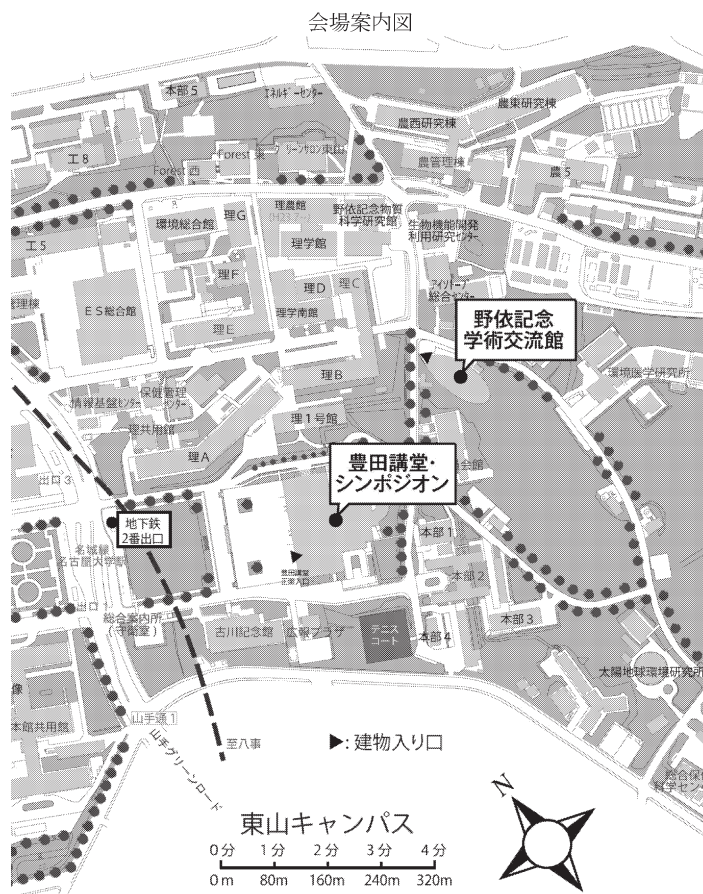
大会委員長：高瀬邦夫（名古屋地方気象台）

当日の会場への連絡先：大会実行委員会事務局 TEL：090-4590-7588（大会期間中のみ有効）

取り次ぎ等はいたしませんのでご了承ください。

後援・協賛企業・団体：今大会の開催に当り，以下の企業・団体からご支援を頂きました（2011年9月29日現在）。厚く御礼申し上げます。

株式会社 JCC ギミック，英弘精機株式会社，三菱電機特機システム株式会社



## 大会行事予定

A会場 : 豊田講堂 ホール  
 B会場 : 豊田講堂 シンポジウム会議室  
 C会場 : 野依記念学術交流館 2階カナルスホール  
 D会場 : 野依記念学術交流館 1階会議室  
 ポスター会場 : 豊田講堂 1階アトリウム 及び 中2階ロビー

シンポジウム・授賞式会場 : 豊田講堂 ホール  
 受付 : 豊田講堂 1階ロビー  
 大会事務局 : 豊田講堂 3階第5会議室  
 懇親会 : 豊田講堂 1階アトリウム

( ) は講演数, - は座長

		A会場	B会場	C会場	D会場
11月16日 (水)	09:30～ 12:30	気候システムⅠ (12, A101～A112) -尾瀬智昭-	観測手法 (16, B101～B116) -堀江宏昭-	降水システムⅠ (19, C101～C119) -可知美佐子- -高橋暢宏-	大気力学 (15, D101～D115) -岩山隆寛- -石渡正樹-
	13:30～ 17:00	気候システムⅡ (19, A151～A169) -梶川義幸- -藤部文昭-	熱帯大気 (21, B151～B171) -沢田雅洋- -星野俊介-	降水システムⅡ (22, C151～C172) -西橋政秀- -佐藤英一-	エーロゾル (13, D151～D163) -清水 厚-  微量気体 (9, D164～D172) -弓本桂也-
	17:00～ 18:00	ポスター・セッション (95, P101～P195)			
11月17日 (木)	09:15～ 12:00	スペシャル・セッション 「放射線物質輸送モデル に関する現状と課題」 (13, A201～A213) -山澤弘実- -里村雄彦-	気象予報  (16, B201～B216) -折口征二- -岡本幸三-	降水システムⅢ  (16, C201～C216) -岩崎杉紀-	中層大気  (12, D201～D212) -山下陽介-
	13:00～ 13:30	山本正野論文賞・堀内賞・奨励賞授与			
	13:30～ 15:10	山本正野論文賞・堀内賞記念講演			
	15:30～ 17:45	シンポジウム「理学と工学の融合が切り開く新しい都市環境学」司会：甲斐憲次 基調講演：飯塚 悟・竹見哲也・近藤裕昭・持田 灯・神田 学			
	18:00～ 20:00	懇親会			
11月18日 (金)	09:15～ 11:30	スペシャル・セッション 「地球温暖化に伴う台 風変化の理解に向け て」 (12, A301～A312) -佐藤正樹- -大内和良- -坪木和久-	中高緯度大気  (6, B301～B306) -鈴木香寿恵-	スペシャル・セッション 「気象情報・知識の伝 達・普及(Ⅲ)」  (14, C301～C314) -多々良秀世-	大気境界層  (10, D301～D310) -伊藤純至-
	11:30～ 12:30	ポスター・セッション (94, P301～P394)			
	13:30～ 17:00	気候システムⅢ  (18, A351～A368) -仲江川敏之- -末吉雅和-	スペシャル・セッション 「大気中の二酸化炭素 観測手法の新たな展 開とそのデータ利用」 (21, B351～B371) -川上修司- -長澤親生- -内野 修-	スペシャル・セッション 「東アジアモンスーン と黒潮 -中緯度大気 海洋相互作用の再発 見へ向けて-」 (17, C351～C367) -立花義裕- -川村隆一-	大気放射 (6, D351～D356) -青木輝夫-  気象教育 (5, D357～D361) -加藤内蔵進-

発表件数 : 501 件 (口頭発表 312, ポスター189)

口頭発表の講演・質疑時間 : 7分と2分

当大会予稿集に掲載された研究発表の文章・図表を複製あるいは翻訳して利用する場合には、日本気象学会の文書による利用許諾を得た上で出所明示して利用しなければなりません。ただし著作者自身による利用の場合は、利用許諾の申請は不要です。

本プログラムの記載内容に関する問い合わせは、〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1 気象研究所予報研究部内 講演企画委員会 (e-mail: kouenkikaku2011a@metsoe.jp) まで。

## 大会参加費・懇親会費

### 大会参加費

- 大会参加費は以下の表の通りです。

大会参加費		
種別	前納	当日
講演者 A	8,000 円	—
講演者 B	5,000 円	—
聴講者	3,000 円	4,000 円

- 講演者の種別：

講演者 A：研究機関・大学に所属する講演者（ただし、学部生・院生は除く）

講演者 B：講演者 A に該当しない講演者

- 講演件数が 2 件の場合も大会参加費は変わりません（講演件数による加算はありません）。
- シンポジウムのみに参加する場合は、参加費は無料です。

### 懇親会費

- 懇親会費は以下の表の通りです。

懇親会費		
種別	前納	当日
一般	5,000 円	6,000 円
学生	2,500 円	3,000 円

### 支払方法

- 講演者の参加費の支払い方法は前納のみとなっております。既に受付は締め切られています。
- 懇親会費及び聴講者の参加費を前納する場合は、大会ホームページにて 2011 年 9 月 20 日（火）までにお支払下さい（郵便振替の場合は 2011 年 9 月 13 日（火）まで）。それを過ぎた場合は当日払いとなります。

### 領収書

- 領収書は参加者本人の名義で、大会当日受付にて名札と一緒に手渡される予定です。
- 名義の変更が必要な場合には再発行が可能ですので、大会当日受付にてお申し出下さい。

### その他

- 一旦支払われた参加費・懇親会費は返却いたしません。
- 参加費・懇親会費には会員・非会員の区別はありません。
- 非会員の方も規定の参加費・懇親会費をお支払い頂ければ大会・懇親会に会員と同様に参加することができます。

## 講演の方法

### 口頭発表（スペシャル・セッションを含む）

- 一般口頭発表の講演 1 件あたりの持ち時間は 9 分（講演 7 分・質疑 2 分）です。
- スペシャル・セッションの発表時間については世話人からの指示に従ってください。
- 講演には PC プロジェクターを使用できます。
- 講演にあたり、予め以下の点をご了承ください。
  - ✓ パソコンは各自で準備して下さい。会場にはプロジェクターおよび接続ケーブルのみを準備します。
  - ✓ セッション開始前の休憩時間などを利用して、必ず接続の確認を行っておいて下さい。また接続が不安な場合は、セッション開始前に会場係に申し出て下さい。
  - ✓ 突然の故障や接続の際のトラブルが発生した場合、座長の判断で発表順の繰り下げなどの対応をとることがあります。携帯用メディアによるバックアップファイルの準備など、トラブルへの備えは講演者自身で行って頂くようにお願いします。

### ポスター発表

- 講演者はポスターに表題と著者名を明記して下さい。
- ポスター発表の一人当たり使用可能面積は、縦 168 cm × 横 117 cm 程度となっています。
- ポスターの掲示には画鋲は使用できません。発表者各自でセロテープや両面テープをご用意ください。
- ポスターの掲示可能時間は以下の通りです。会場の都合上時間厳守をお願いします。
  - ✓ 第 1 日の発表者は 11 月 16 日 09:00～18:00
  - ✓ 第 3 日の発表者は 11 月 18 日 09:00～17:00
- ポスター会場での機器の使用は、講演申し込み時に申し出ていたもの以外は原則として認められません。

## 保育施設の紹介について

大会実行委員会では、大会期間中の保育施設として、次の施設を紹介します。

### トットランド栄

〒461-0001 愛知県名古屋市中区泉 1 丁目 10-23 パムスガーデン 3F  
 TEL: 052-253-5777 URL: <http://www.totmate.jp/>  
 アクセス：地下鉄 名城線・桜通り線久屋大通駅  
 北改札-1B 出口 徒歩 5 分

施設を利用される場合は、利用日の前日 17 時までに利用者が直接お申し込み下さい。また、保育施設利用料の一部補助を行います。施設を利用される方は下記までご連絡ください。

連絡先：高井元治(名古屋地方気象台)  
 TEL：052-751-5124，FAX：052-752-3357  
 E-mail：m-takai@met.kishou.go.jp

## シンポジウム「理学と工学の融合が切り開く新しい都市環境学」

日時：大会第2日（11月17日）15:30～17:45

会場：豊田講堂（大会A会場）

司会：甲斐憲次（名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻）

※シンポジウムの聴講は無料です

### 趣旨

ヒートアイランド現象や集中豪雨、高層建物周辺のビル風など、都市に関わる環境問題は数多く存在します。都市環境問題に対しては、気象学を始めとする理学からのアプローチと建築・土木工学を始めとする工学からのアプローチがありますが、現状ではそれぞれの独自性が強く、異なる面も多々あります。都市環境問題に対する研究成果を広く社会に活用してもらうためには、理学と工学のアプローチをうまく融合し、両者が一丸となって、より効果的な対策や適応策を提示していくことが必要であることは言うまでもありません。本シンポジウムでは、理学と工学の融合が切り開く「都市環境学」について議論し、これを社会に広く活かすための課題や方向性について、理学（気象学）や工学（建築・土木工学）の研究者および行政関係者を交えて議論します。

### 基調講演

飯塚 悟（名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻）

「都市環境学の overview」

竹見哲也（京都大学防災研究所気象・水害災害研究部門）

「都市のモデル化と都市大気乱流の数値シミュレーション」

近藤裕昭（産業技術総合研究所環境管理技術研究部門）

「都市の温熱環境シミュレーションと健康影響の評価」

持田 灯（東北大学大学院工学研究科都市建築学専攻）

「ヒートアイランドに伴う人間生活への影響の緩和ー建築環境工学の立場ー」

神田 学（東京工業大学大学院理工学研究科国際開発工学専攻）

「都市型集中豪雨の数値シミュレーションと対策」

### 総合討論

## スペシャル・セッションの概要紹介

### 放射性物質輸送モデルに関する現状と課題

日時：大会第2日（11月17日）09:15～12:00

場所：A会場

**趣旨**：東日本大震災に伴い発生した福島第一原子力発電所からの放射性物質の大気中への拡散は、社会に大きな影響を及ぼした。このとき実際に放出された放射性物質がどのような経路で拡散していったのかをモデルにより考察することは、気象関連モデルの進歩と気象学の社会への貢献という意味で重要な課題である。しかしながら、モデルの目標でもある放射線量の計算には、通常の化学物質の移流拡散に考慮されるべき要素に加え、放射線雲からのガンマ線や沈着物からの放射なども考慮する必要があり、分析・解明しなければいけない要素は多い。これらの性質は放射性物質により異なり、またおきた事象との関連で長期・短期を区別した評価が必要であるが、それぞれ必要な拡散に関する知識も異なる。このような科学的観点から、空間・時間スケールの異なる放射性物質輸送モデルの現状と問題点について整理し、観測結果をふまえて議論するための発表を期待します。

**世話人**：近藤裕昭（産業技術総合研究所）、里村雄彦（京都

大学）、竹村俊彦（九州大学応用力学研究所）、山澤弘実（名古屋大学）、渡邊 明（福島大学）

### 地球温暖化に伴う台風変化の理解に向けて

日時：大会第3日（11月18日）09:15～11:30

場所：A会場

**趣旨**：将来予想される気候変化に伴い、台風の挙動がどのように変化するかについて関心が高まっている。最新の気候モデルによれば、地球温暖化に伴い、台風が強大化してスーパー台風が頻発したり、日本近海で発生する台風が増加すると予想する結果もある。将来の台風変化の理解のためには、大循環モデルによる将来気候予測シミュレーションに加えて、既存データによる台風変化の注意深い解析研究や、高解像非静力学モデルによる台風の発生や構造変化に関するプロセス研究を進める必要がある。本分科会では、気候変化予測に伴う台風シミュレーション研究、台風のプロセス研究、および近年の台風変化に関する解析的研究等の発表を期待する。

**世話人**：佐藤正樹（東京大学）、杉 正人（JAMSTEC）、坪木和久（名古屋大学）、大内和良（JAMSTEC）

### 気象情報・知識の伝達・普及 (Ⅲ)

日時：大会第3日 (11月18日) 09:15~11:30

場所：C会場

趣旨：気象学は科学的研究、技術の進歩とその成果の応用が連続的であり、社会とのつながりが密接である。東日本大震災と原子力発電所の事故は科学技術と情報の在り方に重要な課題を示した。気象技術の進歩とともに、情報が質・量ともに急速に充実し、竜巻や局地的大雨などで確率情報、画像情報が提供されている。しかし、局地的で短時間の極端現象では、行政の対応には限界があり、生命を守るためには住民が受け身ではなく自ら適切な判断をすることが求められる。このためには、防災情報を与えられるのではなく、自ら取得すること、現象と情報の内容を理解することが必要である。日本気象予報士会は気象庁と連携し「国民の安全安心に向けた知識の普及啓発活動」を推進している。昨年に続き、気象情報の作成、伝達、関連知識の普及・訓練に携わる人々の、日ごろの研究結果が発表されることを期待している。

世話人：奥語基宏 (日本気象予報士会)、高井元治 (名古屋地方気象台)、弘中秀治 (宇部市防災危機管理課)、多々良秀世 (日本気象予報士会)、難波良彰 (日本気象予報士会)、関谷不二夫 (日本気象予報士会)、白石晶二 (日本気象予報士会)、岩田 修 (日本気象予報士会)

### 大気中の二酸化炭素観測手法の新たな展開とそのデータ利用

日時：大会第3日 (11月18日) 13:30~17:00

場所：B会場

趣旨：産業革命以来の大気中二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) の増加は地球温暖化の主な要因である。地球温暖化の将来予測に重要な地域別の CO<sub>2</sub> フラックスとその変化のメカニズムについての理解は依然として不十分である。そのため、温室効果ガス観測技術衛星 GOSAT 「いぶき」による地球規模の CO<sub>2</sub> 観測も行われるようになった。GOSAT の CO<sub>2</sub> データ検証のために、地上高分解能フーリエ変換分光計 (FTS) や航空機搭載非分散型赤外線分析計 (NDIR) による観測データが利用される一方、新しく差分吸収法ライダー (DIAL) や航空機搭載レーザー差分吸収分光計 (LAS)、CO<sub>2</sub> ゼンデ、光スペクトラムアナライザー (OSA) など新たな CO<sub>2</sub> センサーも開発されつつある。このセッションでは、地上・航空機・衛星からの CO<sub>2</sub> の観測手法と観測誤差、観測データの解析方法やそれらのデータを利用した地域規模の CO<sub>2</sub> フラックスを求める手法などに関する発表を募集します。日本の金星探査機「あかつき」が2010年5月に打ち上げられ、12月には観測を開始する予定で

ある。雲層付近の大気スーパーローテーションに同期した赤道上の長楕円軌道から様々な波長で金星を観測することにより、大気の3次元的な運動が明らかになるものと期待されている。金星大気の流体力学に重点をおいた観測は世界的にも例がなく、国内外から多くの関心を集めている。本セッションでは「あかつき」によって得られる観測データとその有効な利用方法、それに必要な研究協力体制の構築、ミッションの成果を広く共有するための枠組み (データの公開やアーカイブ方法) などについて、突っ込んだ議論を行いたい。検討が始まっている日本の火星探査計画や惑星大気に関する最新の研究成果など、あかつき関連以外の話題提供も歓迎する。

世話人：内野 修 (国立環境研究所)、長澤親生 (首都大東京)、川上修司 (宇宙航空研究開発機構)

### 東アジアモンスーンと黒潮 —中緯度大気海洋相互作用の再発見へ向けて—

日時：大会第3日 (11月18日) 13:30~17:00

場所：C会場

趣旨：四方を海に囲まれた日本の気候環境とそれに根ざした日本各地の風土と文化。四季は極めて鮮明で、それが美しい日本の自然を作っている。一方では豪雨豪雪そして猛暑冷夏などの激しい気象もその特徴である。なぜ日本周辺において深刻な災害をもたらす程に激しい気象現象がおこるのだろうか。大規模スケールにおいては冬季東アジアモンスーン・梅雨と黒潮が交差する日本近海では活発な大気海洋相互作用が生じており、これまでに考えられてきた以上に気象擾乱活動に対して重要な役割を果たしている可能性が高い。数値モデルの高分解能化、衛星リモートセンシングの精密化、船舶・ブイ・Argo フロートなどの海洋観測技術の高度化によって、大気海洋相互作用研究に更なるブレイクスルーがもたらされる機会が間近に迫っている。本セッションでは、観測研究から、データ解析、数値シミュレーションに至る様々な手法に基づいた研究を気象ならびに海洋研究者から話題提供して頂きたい。スケールも、中小規模現象から大気大循環まで、そしてその長期変動まで、中緯度の大気海洋相互作用が関連するあらゆる現象を対象とする。討論を通して、中緯度大気海洋相互作用の新たなパラダイムの構築の一助にしたい。発見的要素も含め、予備的な研究報告や観測速報でも構わない。大学院生などの若手の発表も歓迎する。TOGA-COARE で生まれた気象・海洋研究者の研究交流を、また別の形で再開する意味でも、海洋研究者の積極的な申し込みも期待したい。

世話人：立花義裕 (三重大学大学院生物資源学研究所)、川村隆一 (富山大学大学院理工学研究所)

## 研究会のお知らせ

大会期間中とその前後に以下の研究会が予定されています。興味のある方はご自由にご参加下さい。

### ユーラシア・アジアモンスーン地域の気候—陸域相互作用研究会

日時：2011年11月15日 (火) (大会前日) 10:00~17:30

場所：名古屋大学地球水循環研究センター3階大講義室

<http://www.nagoya-u.ac.jp/global-info/access-map/higashiyama/>

内容：本研究会では、ユーラシア大陸・アジアモンスーン地域における気候—陸域相互作用を主テーマとし、プロット

スケールから大陸スケールにおける、水・エネルギー収支、物質循環、およびそれらと気候との相互作用に関する最近の研究成果について、観測研究・モデル研究両面から話題を提供していただき、現在までに明らかになっていること、さらに今後の展望などについて議論を深めたいと考えます。多くの方のご参加をお待ちしております。

**講演者および講演題目（敬称略）：**

- 安成哲三（名古屋大学）（基調講演）  
「気候－植生相互作用：その地球科学的・生物科学的意味」
- 熊谷朝臣（名古屋大学）  
「気候変動により加速されるボルネオ熱帯雨林の大量枯死：SPACと確率過程を用いたモデリング」
- 栗田進（気象研究所）  
「粗度・ゼロ面変位の安定度依存性と、そのキャノピー内乱流との関係について（観測的研究への適用に向けて）」
- 立入郁（JAMSTEC）  
「全球植生モデルのLAIをどう評価するか」
- 小野明子（千葉大学）  
「植物の生育状況からみる水循環の変化」
- 上野健一（筑波大学）  
「チベット高原周辺で発生するMCSと陸面過程」
- 徐健青（JAMSTEC）  
「チベット高原における地表面熱・水収支について」
- 浅沼順（筑波大学）  
「モンゴル半乾燥草原水熱収支の年々変動」
- 佐藤友徳（北海道大学）  
「モンゴルにおける大気陸面相互作用の数値実験」
- 市井和仁（福島大学）  
「アジア域の陸域水・炭素循環の把握：観測とモデルの統合解析」
- 羽島知洋（JAMSTEC）  
「地球システムモデル（気候－炭素循環モデル）における大気－陸域相互作用」
- 馬淵和雄（気象研究所）  
「大気中CO<sub>2</sub>濃度変動と北半球陸域過程との関係に関する数値実験解析」
- 世話人：**馬淵和雄（気象研）、大谷義一（森林総研）、奈佐原顕郎（筑波大）、伊藤昭彦（国環研）、佐藤永（名古屋大学）、大石龍太（CCSR）、立入郁（海洋研究開発機構）、近藤雅征（福島大学）
- 代表連絡先：**馬淵和雄（気象研）  
E-mail：kmabuchi@mri-jma.go.jp

**第36回メソ気象研究会**

**日時：**2011年11月15日（火）（大会前日）13:15～17:30  
**場所：**名古屋大学（東山キャンパス）野依記念学術交流館2階カンファレンスホール（大会C会場）

**テーマ：**「人工降雨・降雪研究の現状」  
**コンピーナー：**村上正隆（気象庁気象研究所）

**内容：**近年、国連などが、人口増加や気候変動による降水分布の変化により2025年までに世界の人口の2/3が水不足に直面すると警鐘を鳴らしている。日本においても、人口密集地域は潜在的な水不足の状態にあり、雨不足・雪不足が続くと容易に渇水となる。例えば、関東以西では、渇水は2～3年に1回と頻発しており、おおそ10年に1度の割合で深刻な渇水が発生している。

そのような状況下、2005年夏に四国・九州など西日本を襲った渇水をきっかけに、2006年度から5年計画で、気象研究所を中心に約10の研究機関が参加して、科学

技術振興調整費「渇水対策のための人工降雨・降雪に関する総合的研究」を実施した。

今回の研究会では、世界や日本の水問題、そして水資源確保の方策の一つとして現在、世界約40カ国で実施されている人工降雨・降雪技術の現状、および本研究の成果を中心に人工降雨・降雪研究の最新の話題を紹介する。

人工降雨・降雪研究は、現在注目されているエアロゾルの間接効果を積極的に利用し、数10kmスケールの降水現象に及ぼす影響を調べるもので、大気科学の幅広い分野、特に雲物理・メソ気象の分野とは密接に関連している。今回は、これまで人工降雨・降雪研究には直接係わりを持たなかった多くの研究者の方々に参加いただき、人工降雨・降雪技術の渇水対策・水資源確保の方策としての有効性や、人工降雨・降雪研究の一環として実施された雲物理・メソ気象の基礎的研究という面からも議論していただきたい。

**プログラム：**

- 13:15-13:50 村上正隆（気象庁気象研究所）「趣旨説明と基調講演（仮題）」
- 13:50-14:20 藤部文昭（気象庁気象研究所）「降水の長期変動から見た渇水問題（仮題）」
- 14:20-14:50 折笠成宏（気象庁気象研究所）「航空機を用いたシーディング実験（仮題）」
- 休憩
- 15:00-15:25 岩波越（防災科学技術研究所）「リモセンで捉えたシーディング効果（仮題）」
- 15:25-15:50 田尻拓也（気象庁気象研究所）「吸湿性粒子シーディングに関するチェンバー実験（仮題）」
- 15:50-16:15 久芳奈遠美（海洋研究開発機構）「吸湿性粒子シーディングによる増雨効果（仮題）」
- 16:15-16:40 橋本明弘（気象庁気象研究所）「総合的水資源予測モデルを用いた人工降雨・降雪の影響評価（仮題）」
- 休憩
- 16:50-17:30 総合討論（パネルディスカッション）

**世話人：**坪木和久（名大地球水循環）、加藤輝之（気象庁数値予報課）、小倉義光（東大地球海洋研）  
**連絡先：**村上正隆（気象庁気象研究所）  
E-mail：mamuraka@mri-jma.go.jp

**極域・寒冷域研究連絡会**

**日時：**2011年11月16日（水）（大会第1日）18:15～2時間程度  
**場所：**名古屋大学（東山キャンパス）豊田講堂 シンポジオン会議室（大会B会場）

**趣旨：**地球温暖化に伴う極域大気の変動の特徴としてArctic Amplificationがあります。Arctic Amplificationを理解することは、北極域の温暖化（さらにはその気候変化）のメカニズムを理解することに他なりません。最近の研究から得られた知見によると、Arctic Amplificationは単にアイス・アルベド・フィードバックだけからもたらされるのではなく、大気循環に伴う顕熱や潜熱の輸送の役割も大きいようです。そうしたことを背景に、極域の大気（すなわち、その特徴）がどのように形成されているのか、今一度、極域への大気中の熱・水・物質輸送を見直すことが意義深いと考えられます。さらに南極域との対比を加えれば極域大気の気候変化のメカニズムについて、より深い理解が得られます。

今回は、観測から得られている現状や変化に関する実態とモデル及び再解析データが現す特徴をもとに、Arctic Amplification に代表される極域の気候変化について議論し、今後の研究への興味について語り合う機会にしたいと思います。

話題：「北極温暖化の理解に向けて」

「観測から Arctic Amplification を考える」 猪上 淳

(JAMSTEC)

「極域への水・熱・物質輸送」 山崎孝治（北大院・地球環境）

問い合わせ先: 平沢尚彦（極地研究所）

TEL: 042-512-0685 FAX: 042-528-3209

E-mail: hira.n@nipr.ac.jp

---

## 2012 年度春季大会の予告

2012 年度春季大会は、2012 年 5 月 26 日（土）～29 日（火）につくば国際会議場（茨城県つくば市竹園）で開催される予定です。大会告示は「天気」12月号に掲載予定です。なお、春季大会の講演申し込み締め切りは2012年2月頃となる予定です。

大会第1日 [ 11月16日(水) ] 9:30~12:30 一般口頭発表

A 会場

気候システム I

座長 : 尾瀬智昭 (気象研)

- A101 尾瀬 智昭 (気象研) 地球温暖化による降水量変化のモデル依存性
- A102 横畠 徳太 (環境研) 気候モデルアンサンブルの多様性と信頼性
- A103 廣田 渚郎 (東大大気海洋研) 降水分布・循環場およびその将来変化の積雲エントレインメント率に対する感度
- A104 塩竈 秀夫 (環境研) 気候感度の物理パラメータ不確実性のメカニズムと制約
- A105 若月 泰孝 (筑波大院生命環 JAMSTEC/RIG) サンプルングを考慮した気候モデル実験の相対加重の推定
- A106 長谷川 聡 (土研 ICHARM) GCMの極端および月降水量の同時バイアス補正手法の全球陸域への適用
- A107 高藪 出 (気象研) マルチモデルアンサンブルとダウンスケーリングの研究 (S-5-3)
- A108 栗原 和夫 (気象研) AGCMにネストしたNHRCMによる温暖化実験 -概要-
- A109 立入 郁 (JAMSTEC) RCP4.5シナリオに対する許容排出量の不確実性
- A110 大泉 三津夫 (気大) マルチモデルアンサンブル実験での地域気候モデルの降積雪特性その4. NHRCM再現実験の高度依存性
- A111 Laine Alexandre (東大先端研) Factors contributing to precipitation changes simulated by IPCC-AR4 models under the A1B scenario
- A112 村上 英世 (いいエコ研究所) 姿勢制御機能を装備した太陽光遮光装置の温暖化防止特性解析



## 大会第1日 [ 11月16日(水) ] 9:30~12:30 一般口頭発表

### B 会場

#### 観測手法

座長：堀江宏昭 (NICT)

- B101 熊本 真理子 (気象庁測器セ) アスファルト道路が気温観測に及ぼす影響の屋外測定による評価
- B102 小野木 茂 (気象研) 汎用デジタルカメラを使用したPIV撮影装置(3報)
- B103 永井 智広 (気象研) Nd:YAG レーザーを用いた二酸化窒素観測用ライダーの開発
- B104 松見 豊 (名大STE研) レーザー分光法による大気CO<sub>2</sub>および水蒸気の安定同位体比 (<sup>13</sup>C, <sup>18</sup>O, D) の連続測定—名古屋における台風および前線通過時の同位体比変動—
- B105 小司 禎教 (気象研) 水蒸気変動監視のための首都圏 GNSS 観測
- B106 牛山 朋来 (土研 ICHARM) パーシベルと Joss-Waldvogel タイプディストロメータの雨滴粒径分布検証
- B107 橋口 浩之 (京大生存研) 航空安全運航のための次世代ウィンドプロファイラによる乱気流検出・予測技術の開発
- B108 山内 洋 (気象研) 偏波間位相差を用いた地形クラッタの影響の軽減
- B109 佐藤 晋介 (NICT) 時空間的に連続な3次元レーダーデータの利用可能性
- B110 中村 健治 (名大水循環センター) 2台のKa帯レーダによる降雨の対向観測実験
- B111 青梨 和正 (気象研) 新しい陸上のマイクロ波放射計降水リトリバルアルゴリズムの開発 (その3)
- B112 小林 隆久 (気象研) 衛星搭載雲・降水レーダーにおける多重散乱
- B113 堀江 宏昭 (NICT) 衛星搭載雲レーダ(EarthCARE/CPR)の簡易シミュレーション
- B114 佐藤 可織 (応力研) 衛星搭載アクティブセンサによる雲全域解析を目的としたアルゴリズムの拡張
- B115 大野 裕一 (NICT) 小金井で観測されたシーロメータデータの統計解析
- B116 藤井 貫志 (防衛大地球海洋) 衛星データを用いた下層雲の雲底高度推定

## 大会第1日 [ 11月16日(水) ] 9:30~12:30 一般口頭発表

### C 会場

#### 降水システム I

座長 : 可知美佐子 (JAXA/EORC)

- C101 鶴沼 昂 (高知大院理) 四国に豪雨をもたらす停滞性の線状降水帯におけるコールドプールと下層鉛直シアの役割
- C102 二宮 洸三 (JAMSTEC) 1965年9月14-15日の岐阜県-福井県豪雨の総観規模環境場
- C103 二宮 洸三 (JAMSTEC) メイユ・梅雨前線降水帯の年々変動の相関に関するCMIP3-20世紀実験モデル相互比較
- C104 金田 幸恵 (JAMSTEC つくば勤務) 梅雨期日本周辺域の降水の日変化について
- C105 栃本 英伍 (九大院理) 梅雨前線帯の低気圧の発達過程と環境場 (3)
- C106 重 尚一 (京大院理) TRMM PR データからの潜熱加熱プロファイルのスペクトル推定法: V7標準プロダクトの概要
- C107 可知 美佐子 (JAXA/EORC) TRMM バージョン7プロダクト: 概要とリリース
- C108 井口 俊夫 (NICT) TRMM 降雨レーダのバージョン7アルゴリズム
- C109 濱田 篤 (東大 AORI) TRMM V7\_2A25 データの extreme rain 値に対するフィルタの作成
- C110 広瀬 正史 (名城大) 長期 TRMM PR データによる降水気候値の特徴と課題

座長 : 高橋暢宏 (NICT)

- C111 高橋 暢宏 (NICT) CloudSat と TRMM/PR における降水システムの特徴の比較
- C112 Shrestha Dibas (HyArc) Spatiotemporal Variation of Rainfall over Central Himalayan Region Revealed from TRMM PR Data
- C113 木下 陽平 (北大院理) 合成開口レーダ干渉法で見た集中豪雨時の水蒸気分布: 2つの事例解析
- C114 加藤 輝之 (気象庁数値予報) 降雪予想に対する水平・鉛直解像度と乱流過程の依存性その2: 鉛直プロファイルの違い
- C115 ルース ウベルト (Toulon-Var 大/京大生存研) A new multi-instrumental campaign at Shigaraki MU Observatory (September 2011) for studying turbulence sources and characteristics in the lower atmosphere
- C116 檜尾 守昭 (気象大) メソ解析と気象力学および気象熱力学
- C117 吉崎 正憲 (JAMSTEC) 階層構造の形成メカニズムに関する考察
- C118 廣川 康隆 (気象庁予報) 強雨事例に対する上空高渦位の寄与に関する統計調査
- C119 清水 宏将 (名大院環境) 雲域追跡に基づく冬季東太平洋における亜熱帯低気圧の解析

大会第1日 [ 11月16日(水) ] 9:30~12:30 一般口頭発表

D 会場

大気力学

座長：岩山隆寛（神戸大・理）

- D101 太田 真衣（東大大気海洋研） 冬季アジアモンスーンと北太平洋のストームトラック活動との関係  
 D102 木下 仁（福岡予報） 2011年4月26日九州の西海上で顕在化した内部重力波について  
 D103 安田 勇輝（東大院理） 対流圏界面直下の弱い成層域に捕捉された重力波—地球角速度ベクトルの水平成分の影響—  
 D104 杉本 憲彦（慶大日吉物理）  $f$ 平面浅水系における渦対からの自発的な重力波放射  
 D105 植松 恵司（京大院理） 理想化された積雲対流モデルにおけるパターン形成について  
 D106 中村 晃三（JAMSTEC/RIGC） 熱帯で観測された湿潤静的安定度と相対湿度の関係  
 D107 岩山 隆寛（神戸大理） 一般化された2次元流体における渦列，渦層の線形安定性解析  
 D108 野田 彰（JAMSTEC/RIGC） 非中立波動に基づいた一般的 TEM — 3次元渦拡散テンソルの全成分の導出—

座長：石渡正樹（北大院理）

- D109 村上 茂教（気象研） エネルギー論再考 -第2報-  
 D110 山本 博基（京大院理） ギーラシメカニズムに基づく惑星大気スーパーローテーション～理論解のパラメータ依存性と力学バランス～  
 D111 石渡 正樹（北大院理） 惑星大気計算のための大循環モデルならびに雲解像モデルの構築  
 D112 堀之内 武（北大院地球環境） 水惑星実験によるハドレー循環における対流と結合した波動の役割  
 D113 納多 哲史（神戸大院理） 同期回転惑星大気における熱収支の自転角速度依存性  
 D114 今村 剛（宇宙研） 金星下層大気の定常赤道モード  
 D115 池川 慎一（北大院環境） 金星雲頂における雲の変形を考慮した擾乱成分の導出方法

## 大会第1日〔11月16日(水)〕 13:30~17:00 一般口頭発表

### A 会場

#### 気候システムⅡ

座長：梶川義幸（名大地球水循環）

- A151 釜堀 弘隆 (気象研) 全球降水量への熱帯低気圧の寄与
- A152 原田 祐輔 (名大院環境) 大気による極向きのエネルギー輸送の緯度分布とその変化-ERA-Interim データを用いた解析-
- A153 渡邊 武志 (北大院環境) 西部チベット高原上空の擾乱により生じる下層のロスビー波のアジアモンスーンへの影響
- A154 梶川 義幸 (名大地球水循環) 南シナ海モンスーンのオンセットの10年規模変動
- A155 久保田 尚之 (JAMSTEC) PJパターンを通した夏期西部北太平洋域のモンスーン活動の数十年変動
- A156 楊 悦 (三重大院生物資源) 中国における過去約半世紀の降水量の時空間変動(その1) -EOF解析-
- A157 Dimri Ashok (名大地球水循環) Role of topography on winter precipitation over the western Himalayas
- A158 井上 忠雄 (名大院環境) 下層雲出現頻度の斜面方位依存性

座長：藤部文昭（気象研）

- A159 藤部 文昭 (気象研) 日本の気温経年変化における都市バイアスの評価 -区内観測データを利用した過去1世紀の解析-
- A160 森塚 望 (岡山大教育理科) 九州南部における4月頃からの降水量の季節的増加に関する解析(序報)
- A161 光畑 俊輝 (岡山大教育理科) 東アジアの季節サイクルの中で見た東日本における秋雨期の降水の特徴について(序報)
- A162 坂田 晴香 (三重大院生物資源) 南極ダスト記録にみられる過去80万年間の気候周期とダストピーク
- A163 藤井 聡 (気象予報士会) 5年移動データから見た台風の経年活動と気候変動
- A164 平原 翔二 (気象庁気候情報) 温暖化による日本の冬の変化 熱帯との関連
- A165 西村 奈那子 (岡山大教育理科) 寒候期を通した冬型の多降水日の出現状況の季節進行に関する解析(序報)
- A166 中津留 高広 (アカデミックエクスプレス(株)) 筑波山(男体山)における過去100年間の最高気温と最低気温の変動
- A167 島田 照久 (東北大院理) ヤマセイデックスを用いた北日本の夏季の気候変動評価
- A168 大久保 さゆり (東北農研) 1kmメッシュ気象データを用いた1978-2010年の稲いもち病発生指数の解析
- A169 吉田 信夫 (気温をはかる会) 多治見の夏の暑さについて

## 大会第1日 [ 11月16日(水) ] 13:30~17:00 一般口頭発表

### B 会場

#### 熱帯大気

座長： 沢田雅洋（東北大院理）

- B151 マルズキ（京大生存研） Variability of Precipitation Propagation over Indonesia Based on MTSAT-IR, TRMM and Wind Profiler Network Observations
- B152 松本 崇嗣（千葉大院理） 静止気象衛星より得られた熱帯海岸域での対流雲の伝播距離
- B153 村田 文絵（高知大理） バングラデシュにおいて2011年5月11日に観測されたスコールライン
- B154 田上 雅浩（熊本大自然院自然科学） バングラディッシュ・ダッカにおける降水安定同位体比の変動特性
- B155 伍 培明（JAMSTEC/RIGC） 中部ベトナムの持続的豪雨に及ぼす季節内変動の影響
- B156 福富 慶樹（JAMSTEC） インド洋 ITCZ 上の波動擾乱に対する南半球中緯度からの強制
- B157 吉田 龍二（京大防災研） PALAU2010 で観測された熱帯擾乱における渦の発生過程に関する数値実験
- B158 那須野 智江（JAMSTEC/RIGC） 全球非静力学モデルを用いた台風0806号(Fengshen)再現実験 第4報
- B159 吉村 淳（東大大気海洋研） 西太平洋に発生した Twin Cyclones の再現実験
- B160 横田 祥（東大大気海洋研） ITCZ Breakdown に伴うハリケーン発生の理想化実験
- B161 宮本 佳明（理研計算科学） 全球非静力学モデルによって再現された熱帯低気圧の傾度風平衡度合

座長： 星野俊介（気象研）

- B162 筆保 弘徳（横浜国大） 台風外部コア発達に対するアウターレインバンドの影響
- B163 沢田 雅洋（東北大院理） 台風に伴う対流活動の周期的な変動メカニズム
- B164 山岬 正紀（JAMSTEC） 台風における氷相過程の効果
- B165 星野 俊介（気象研） 台風強度推定法改良のための TRMM/TMI 輝度温度パターンの分類
- B166 小山 亮（気象研） マイクロ波探査計データを使った台風強度推定手法の開発－暖気核推定誤差の要因と特徴について－
- B167 北畠 尚子（気象研） 台風の温帯低気圧化時の海面水温の特徴
- B168 金丸 佳矢（名大院環境） 熱帯海洋上の地表面水蒸気量の変動機構 その1
- B169 吉崎 正憲（JAMSTEC） 粗い解像のNICAMに表れた大規模降水系の東進特性とその形成メカニズム
- B170 大内 和良（JAMSTEC） マッデン・ジュリアン振動の起源再考 その1: 東進対流群 -熱帯暖水域に卓越する巨大なスコールライン
- B171 西 憲敬（京大院理） 圏界面付近における赤道ケルビン波の速度(2)

## 大会第1日〔11月16日(水)〕 13:30~17:00 一般口頭発表

### C 会場

#### 降水システムⅡ

座長：西橋政秀（気象研）

- C151 前島 康光（名大地球水循環） 冬季日本海上に発生するメソ $\alpha$ スケール擾乱のマルチスケール解析
- C152 本田 匠（九大院理） 水蒸気プロファイルがスーパーセルストーム発達に及ぼす影響
- C153 村松 貴有（筑波大院生命環境） 全球20km 大気大循環モデルに基づく竜巻発生環境場の将来予測
- C154 山田 芳則（気象研） 千葉県柏市に竜巻をもたらした2011年4月25日の降水システムの構造
- C155 荒木 健太郎（銚子地方气象台） 2011年4月25日に千葉県北西部で発生した竜巻の数値シミュレーション
- C156 楠 研一（気象研） 竜巻等突風のための多点型地上観測システムの開発
- C157 猪上 華子（気象研） 2009年1月23日に庄内平野に突風をもたらした気象擾乱(序報)
- C158 佐藤 英一（気象研） 2010年1月13日に庄内平野を通過した渦状擾乱の構造
- C159 益子 渉（気象研） 2010年12月12日 庄内平野に突風をもたらしたシアラインの構造と形成機構
- C160 下瀬 健一（気象研） 庄内平野に突風をもたらした気象じょう乱の数値シミュレーション -降水システムの時間発展の解析-

座長：佐藤英一（気象研）

- C161 西橋 政秀（気象研） 庄内平野における冬季雷と渦の関連性 -2010年11月30日の事例解析-
- C162 道本 光一郎（防衛大） 小松空港周辺の冬季航空機被雷（最近の解析結果等）について
- C163 吉田 翔（筑波大院生命環境） セル追跡を用いた降水ナウキャストの精度検証
- C164 小林 文明（防大地球） 雲レーダー・Xバンドレーダー・可視画像でみた孤立積乱雲の発生過程
- C165 楠 研一（気象研） 極端気象のため首都圏地上気象観測網の構築
- C166 佐藤 英一（気象研） Kuバンドレーダーを用いて観測した積乱雲の構造
- C167 荒木 健太郎（銚子地方气象台） 2009年8月9日に千葉市に局地的大雨をもたらした降水系の同化実験
- C168 斉藤 和雄（気象研） 平成23年新潟福島豪雨の雲解像アンサンブル実験
- C169 加藤 輝之（気象庁数値予報） 平成23年7月新潟・福島豪雨の発生要因 -1998年・2004年の過去の豪雨との比較-
- C170 用貝 敏郎（鹿児島地方气象台） 2010年10月20日、奄美地方北部で発生した記録的大雨 -高層データを基に大雨発生当初の要因を探る-
- C171 馬場 賢治（酪農大環境） 2010年8月24日北海道における局地的大雨について
- C172 小松 麻美（気象協会） 気象データを用いた雪崩危険度推定手法の開発(Ⅱ)北海道外の雪崩事例への適用

## 大会第1日 [ 11月16日(水) ] 13:30~17:00 一般口頭発表

### D 会場

#### エアロゾル

座長 : 清水 厚 (環境研)

- D151 小林 拓 (山梨大院医工) 偏光を利用した光散乱式気中粒子計測器の開発
- D152 松浦 由希 (防衛大地球海洋) 静止気象衛星赤外差分画像を用いた黄砂の動向解析 - 2
- D153 清水 厚 (環境研) ライダーによる地上付近の2成分消散係数と黄砂・煙霧等大気現象との対応
- D154 神 慶孝 (名大院環境) 夏季タクラマカン砂漠のアクスにおける風系, 水蒸気密度, エアロゾル粒径分布の日変化
- D155 浦 幸帆 (名大院環境) 湿性・乾性沈着した鉱物質ダスト粒子の Fe/Ti 重量比
- D156 長田 和雄 (名大院環境) 鉱物質ダストの湿性・乾性沈着量の分布
- D157 林 政彦 (福岡大理) 赤道域の上部対流圏, 成層圏におけるエアロゾル揮発特性の鉛直分布ーインドネシア Biak 島における気球観測ー
- D158 兼保 直樹 (産総研) つくばにおける福島第一原子力発電所事故後の大気中放射性核種の粒径分布
- D159 大島 長 (気象研) 春季東アジア域におけるブラックカーボンの上方向輸送過程
- D160 安成 哲平 ((NASA/GSFC; GESTAR/USRA)) Mass concentrations of dust, black carbon, and organic carbon in snow directly estimated from the NASA GOCART/GEOS-5 aerosol model
- D161 五藤 大輔 (東大大気海洋研) モデル水平分解能とグリッド内部におけるエアロゾル不均一性の関係
- D162 伊藤 彰記 (JAMSTEC) 大気を通して海洋へ供給される可溶性鉄に関する全球エアロゾル化学輸送モデル解析
- D163 梶野 瑞王 (気象研) 非静力学気象化学モデル (NHM-Chem) の開発

#### 微量気体

座長 : 弓本桂也 (気象研)

- D164 秋吉 英治 (環境研) オゾンホールの大きさ・深さと気温, 波動活動, 微量成分分布
- D165 中島 英彰 (環境研) CALIPSO と MLS データによる PSC タイプによるオゾン破壊量の定量化
- D166 鈴木 睦 (宇宙研) 成層圏塩素化学種 HCl, ClO, HOCl に関する SMILES 観測について
- D167 入江 仁士 (JAMSTEC) 共通の基準による SCIAMACHY, OMI, GOME-2 の対流圏 NO<sub>2</sub> データのバイアス評価
- D168 那須 侑子 (奈良女子大院人間文化) GOSAT TANSO-FTS 熱赤外チャンネルから導出されたメタン濃度と AIRS および CONTRAIL の比較解析
- D169 内野 修 (環境研) GOSAT プロダクト検証用可搬型ライダーの開発
- D170 永島 達也 (環境研) 東アジア対流圏オゾンへの大陸間越境輸送の寄与推定-異なる手法を用いた推定結果の比較-
- D171 板橋 秀一 (九大院総理工) 東アジアスケールの対流圏オゾンとその前駆体のソース・リセプター解析手法の新展開 (DDM-3D)
- D172 弓本 桂也 (気象研) グリーン関数法を用いた一酸化炭素排出量の逆推定

## 大会第2日〔11月17日(木)〕 9:15~12:00 一般口頭発表

### A 会場

#### スペシャル・セッション「放射性物質輸送モデルに関する現状と課題」

座長：山澤弘実（名古屋大学）

- A201 渡邊 明（福島大院理工）放射能ゾンデ観測による放射能の鉛直分布
- A202 北 和之（茨城大理）大気放射性物質の広域観測と土壌からの再飛散の影響
- A203 鶴田 治雄（東大大気海洋研）原発事故による放射性物質の地表面沈着の広域分布とその要因
- A204 眞木 貴史（気象研）逆解析を用いた初期放射線量推定システムの構築
- A205 阿部 康一（環境科学技術研究所）大型再処理施設から排出される放射性物質の拡散予測精度評価
- A206 竹見 哲也（京大防災研）2011年3月の福島県東部地域における風速特性・拡散特性のモデル解析

座長：里村雄彦（京都大学）

- A207 近藤 裕昭（産総研）福島第一原子力発電所から福島県内への3月15日の放射性物質の輸送と沈着 AIST-MM による解析
- A208 滝川 雅之（JAMSTEC）領域化学輸送モデルを用いた放射性物質沈着量の推定
- A209 梶野 瑞王（気象研）気象研領域モデルによる福島第一原発事故に伴う放射性物質の輸送・沈着実験
- A210 加藤 雅也（名大地球水循環）CReSS を用いた移流拡散シミュレーション
- A211 田中 泰宙（気象研）気象研究所全球モデルによる放射性物質輸送シミュレーションの現状と課題
- A212 五十嵐 康人（気象研）核災害を含む緊急時対応システムー欧州の先行事例から
- A213 鈴木 靖（京大防災研）大気拡散予測情報に関する震災前後の意識変化

#### 総合討論



## 大会第2日 [ 11月17日(木) ] 9:15~12:00 一般口頭発表

### B 会場

#### 気象予報

座長：折口征二（気象研）

- B201 榎本 剛（京大防災研） 静力学気圧座標を用いた非静力学支配方程式系の再検討
- B202 宮本 健吾（JAMSTEC） Reduced Spectral Transformation における閾値について
- B203 肖 鋒（東工大院総理工） 六角形要素における球面三次精度移流スキーム
- B204 山崎 弘恵（京大院理） z座標系非静力学モデルの局所格子細密化
- B205 露木 義（気象研） カルマンフィルタによる2-スケールモデルのデータ同化
- B206 石橋 俊之（気象研） 非線形性の強い観測データの全球大気解析での利用
- B207 上清 直隆（気象研） 主成分を利用した AIRS データによる気温・水蒸気プロファイルのリトリバル（放射モデルによる違い：MITRAN と RTTOV の比較）
- B208 上沢 大作（JAXA/EORC） CloudSat データを利用した簡易雲オーバーラップスキームの評価
- B209 岡本 幸三（気象研） 雲・降水域の衛星輝度温度データの同化に向けて（その2）

座長：岡本幸三（気象研）

- B210 青梨 和正（気象研） Neighboring Ensemble を用いた雲解像モデル物理量の予報誤差相関の解析
- B211 川畑 拓矢（気象研） ドップラーライダー観測データ同化手法の開発
- B212 折口 征二（気象研） NHM-LETKF における可降水量の適応鉛直局所化手法と降水インパクト実験
- B213 藤田 匡（気象庁数値予報） メソ LETKF の開発
- B214 黒田 徹（JAMSTEC） インクリメント法 LETKF を用いた実験システムの構築（第3報）
- B215 瀬古 弘（気象研） LETKF ネストシステムの改良
- B216 山口 宗彦（気象研） アンサンブル手法による台風進路予報

大会第2日〔11月17日(木)〕 9:15~12:00 一般口頭発表

## C 会場

### 降水システムⅢ

座長：岩崎杉紀（防衛大）

- C201 菊地 勝弘（北大名誉教授） 中緯度と極域での観察に基づいた新しい雪結晶分類（グローバル分類）の提案（2）
- C202 菊地 勝弘（北大名誉教授） 柱状・板状結晶群のCP6~CP9の位置づけ
- C203 村上 正隆（気象研） 吸湿性粒子を用いたシーディング実験 —航空機観測の結果—
- C204 久芳 奈遠美（JAMSTEC/RICG） 暖かい雨に対する凝結核散布の効果に関する数値実験（4）
- C205 山下 克也（気象研） すず粒子のCCN・IN活性化特性
- C206 岩崎 杉紀（防衛大） オーバーシュートの統計的な性質
- C207 清木 達也（理研計算科学） 熱帯スコールラインに対するエアロゾル凝結成長効果
- C208 岩崎 博之（群馬大教育） 10秒降水量データを使った発達した積乱雲を構成する対流セルの微細構造の解析
- C209 岩崎 博之（群馬大教育） 暖候期における地上比湿の経年変化の地理的特徴
- C210 真木 雅之（防災科研） 2010年9月28日に東京近郊で観測された局地的豪雨の微物理学的特徴 —ディストロメータデータの解析結果—
- C211 岩波 越（防災科研） 積乱雲の一生の観測計画 —局地的大雨の早期予測に向けて—
- C212 中井 専人（防災科研雪氷） 観測に基づく降雪粒子種とZe-Rの関係
- C213 石坂 雅昭（防災科研雪氷） 霰および湿雪領域を含めた主要降雪粒子の連続的種類判別について（1）—推定質量フラックス図—
- C214 本吉 弘岐（防災科研雪氷） 霰および湿雪領域を含めた主要降雪粒子の連続的種類判別について（2）—光学式ディストロメータによる降雪観測—
- C215 小西 啓之（大阪教育大） 種々の降雪粒子の粒径と落下速度の観測
- C216 山口 弘誠（京大生存基盤） 偏波レーダーを用いた雨滴粒径分布の時空間構造の推定

大会第2日 [ 11月17日(木) ] 9:15~12:00 一般口頭発表

D 会場

中層大気

座長 : 山下陽介 (環境研)

- D201 古賀 優作 (九大院理) ノーマルモード・ロスビー波の年々変動
- D202 土屋 主税 (東大院理) 冬半球における Rossby 波活動の夏半球中間圏中緯度東風の形成における役割
- D203 小寺 邦彦 (名大 STE 研) 成層圏突然昇温現象の熱帯対流圏への影響: 大気大循環モデル実験
- D204 堀之内 武 (北大院地球環境) 成層圏突然昇温時の大規模前線構造と重力波の誤診断について
- D205 木下 武也 (東大院理) アンデス山脈領域における重力波に伴う3次元残差流の研究
- D206 岡本 功太 (東大院理) 再解析データを用いた極渦上部低緯度側の気候学的な強い上昇流とその形成メカニズムの研究
- D207 高麗 正史 (東大院理) 極成層圏雲と上部対流圏の雲との関係 ―ブロッキングの役割―
- D208 中村 哲 (環境研) ハロゲンと温室効果ガスの濃度変化に伴う北半球夏季対流圏の気候変化とその将来予測
- D209 西本 絵梨子 (京大生存研) 熱帯対流圏界面遷移層における準定在的な東西非一様温度場の成層圏準二年周期振動にともなう変動
- D210 河谷 芳雄 (JAMSTEC) 赤道準2年振動の将来変化に対する二酸化炭素濃度と海面水温の役割
- D211 山下 陽介 (環境研) 化学気候モデルを用いた太陽11年周期とQBOの北半球中高緯度大気への影響の考察
- D212 塩谷 雅人 (京大生存研) SMILESによる中層大気化学と力学についての成果概要

## 大会第3日 [ 11月18日(金) ] 9:15~11:30 一般口頭発表

### A 会場

#### スペシャル・セッション「地球温暖化に伴う台風変化の理解に向けて」

座長：佐藤正樹（東大大気海洋研）

- A301 山田 広幸 (JAMSTEC) 台風 Fengshen(2008)の非対称構造と進路の関係
- A302 吉岡 真由美 (名大地球水循環) 大気海洋結合モデルを用いた台風 T0914(Choi-wan)の強度変化
- A303 久保田 尚之 (JAMSTEC) 過去 100 年間の西部北太平洋域の台風経路の変化
- A304 横井 覚 (東大大気海洋研) 「発生地別台風統計法」を利用した台風存在頻度変化の要因別分解

座長：大内和良（JAMSTEC）

- A305 辻野 智紀 (名大地球水循環) 熱帯低気圧の最大強度に対する内部コアの非軸対称成分の寄与
- A306 宮本 佳明 (理研計算科学) 大気海洋相互作用を加味した熱帯低気圧の最大可能到達強度理論
- A307 筒井 純一 (電中研) 潜在強度理論による熱帯低気圧の強大化の検討
- A308 山田 洋平 (JAMSTEC) NICAM を用いた温暖化想定実験における熱帯低気圧の warm core の変化

座長：坪木和久（名大地球水循環）

- A309 森 正人 (東大大気海洋) 大気海洋結合モデルによる近未来の台風変化予測
- A310 金田 幸恵 (JAMSTEC つくば勤務) 水平解像度 5km/2km の非静力学モデル JMANHM を用いた非常に強い TC の発達に関する感度実験(2)~境界層スキームによる構造と下層フラックスの鉛直輸送
- A311 杉 正人 (JAMSTEC) 新 20km 全球大気モデルによる熱帯低気圧の将来変化予測
- A312 村上 裕之 (JAMSTEC) 60km 全球大気モデルを用いた海面水温・マルチモデルアンサンブル実験における熱帯低気圧の将来変化

#### 議論

大会第3日 [ 11月18日(金) ] 9:15~11:30 一般口頭発表

## B 会場

### 中高緯度大気

座長 : 鈴木香寿恵 (極地研)

- B301 猪上 淳 (JAMSTEC/RIGC) 北極低気圧の発生・発達過程の直接観測  
B302 西井 和晃 (東大先端研) ブロッキングを含む準停滞性高気圧性偏差のエネルギー収支解析  
B303 黒田 友二 (気象研) 中間規模波動の南半球環状モード形成に果たす役割  
B304 緒方 香都 (三重大院生物資源) 大気循環モデルを用いた南極周辺の海氷が大気循環に与える影響  
B305 鈴木 香寿恵 (極地研) 南極氷床への対流圏大気輸送と SAM(AAO)の関係  
B306 平沢 尚彦 (極地研) 南極氷床末端部の夏季のカタバ風

大会第3日〔11月18日(金)〕 9:15~11:30 一般口頭発表

C 会場

スペシャル・セッション「気象情報・知識の伝達・普及(Ⅲ)」

座長：多々良秀世(気象予報士会)

- C301 小松 麻美(気象協会) 気象教育教材の開発と実践 その4 ～切り絵で作る雪の結晶, 「この風景はどこだ?」～
- C302 加藤 内蔵進(岡山大・教育・理科) 日本の早春頃の季節遷移過程と季節感に関する学際的学習プログラムの開発(『早春賦』を接点とする気象と音楽との連携)
- C303 箭川 昭生(気象予報士会) 『楽しいお天気講座』の最近の活動と人工雪結晶再現性の向上
- C304 平松 章男(気象予報士会) 意思決定者のリスク選好態度を考慮した確率予報の利用について
- C305 新井 直樹(電子航法研) 気象情報可視化ツール Wvis の開発(2) ～気象の見える化を目指して～
- C306 中山 秀晃(気象予報士会) WebGIS を活用した関東地方の雨雪判定
- C307 白石 晶二(気象予報士会) 気象予報のあり方に関する基礎的研究
- C308 道本 光一郎(防衛大) 気象情報の提供タイミング(気象予報との関連を踏まえた)等について
- C309 土井 修二(気象予報士会) 地元の気象特性, 過去災害調査のススメー地方在住の気象予報士へー
- C310 実本 正樹(京都府立洛東高校・気象予報士会) 京都府宇治市で発生した突風(ダウンバースト)
- C311 伊藤 孝志(菰野町) 平成20年9月の記録的豪雨による災害について
- C312 太田 克久(愛知県) みずから守るプログラム ～大雨が降ったら～
- C313 多々良 秀世(NPO WFT/CAMJ) 気象災害の図上訓練等(気象防災 DIG プラス)について
- C314 藤井 聡(気象予報士会) 気象防災の知識普及への取り組みと課題

## 大会第3日 [ 11月18日(金) ] 9:15~11:30 一般口頭発表

### D 会場

#### 大気境界層

座長 : 伊藤純至 (東大大気海洋研)

- D301 二星 義裕 (筑波大院情報工学) 高解像度 LES 計算の GPU による計算加速
- D302 池田 亮作 (筑波大院生命環境) 都市街区を対象にした並列 LES 気象モデルの開発
- D303 北村 祐二 (気象研) 安定成層でのフラックスリチャードソン数と乱流プラントル数の同定
- D304 伊藤 純至 (東大大海研) LES で再現した Dust Devil のトラッキング
- D305 川合 秀明 (気象研) 中高緯度の海洋下層雲
- D306 古橋 和樹 (兵県大) 姫路市におけるヒートアイランド研究—気温分布の観測
- D307 平井 傑 (兵県大) 観測タワーが風速・乱流観測値に与える影響の検討
- D308 湯浅 早希 (兵県大) 不安定時の都市大気乱流観測と熱輸送に関するモニン・オブコフ相似則の適用可能性
- D309 河野 仁 (兵県大) 不安定時の都市大気乱流—風速分布に対するモニン・オブコフ相似則の適用可能性
- D310 島本 瞳 (兵県大) ラフネス・サブレイヤ (RS) 内の大気乱流と大気拡散について—風洞実験による研究

## 大会第3日 [ 11月18日(金) ] 13:30~17:00 一般口頭発表

### A 会場

#### 気候システムⅢ

座長：仲江川敏之（気象研）

- A351 安田 珠幾 (気象研) 大気海洋結合モデルを用いた 2010 年夏の季節予測実験
- A352 足立 恭将 (気象研) 超高解像度大気モデルでの台風通過時における大気海洋相互作用の影響調査
- A353 安成 哲平 ((NASA/GSFC; GESTAR/USRA)) Preliminary simulations focusing on snow cover fraction over the Tibetan Plateau using a new version of the NASA GEOS-5 Catchment land surface model
- A354 草開 浩 (気象庁数値予報) 陸面モデル (MJ-SiB) の積雪予報精度検証と改良
- A355 馬淵 和雄 (気象研) 近年発生したエルニーニョ前後の陸域炭素収支と L A I 季節進行との関係に関する数値実験解析
- A356 田中 健路 (広工大環境) 2009 年 7 月 15 日に梅雨前線の南下に伴い発生した潮位副振動
- A357 楠 昌司 (気象研) 60km 格子全球大気モデルによる 1872~2099 年実験
- A358 仲江川 敏之 (気象研) 革新全球 20km AGCM による全球主要河川の年平均流量予測
- A359 今田 由紀子 (東工大情報理工) 過去数十年における熱帯不安定波の活動度の変化傾向

座長：末吉雅和（気象研）

- A360 末吉 雅和 (気象研) 地球温暖化に伴う日本付近の海面高度と海面気圧の将来変化
- A361 大島 和裕 (地球研) CMIP3 マルチ気候モデルを用いた北太平洋における大気・海洋の将来変化
- A362 植田 宏昭 (筑波大生命環境) 寒冷・温暖な気候条件下におけるモンスーン循環の駆動力
- A363 小畑 淳 (気象研) 温暖化時の気候炭素循環変動に及ぼす植生枯死の影響
- A364 庭野 匡思 (気象研) グリーンランド氷床上積雪の状態変化予測
- A365 佐藤 友徳 (北大院地球環境) 雪氷変化による北海道の将来気候への影響
- A366 岡島 秀樹 (RIGC/JAMSTEC) 南極オゾン層回復が南大洋二酸化炭素吸収に及ぼす影響
- A367 釜江 陽一 (筑波大院生命環境) 鮮新世中期の温暖な地球システムにおける大気上端放射収支
- A368 大垣内 るみ (JAMSTEC) MIROC-ESM を用いた完新世中期シミュレーションにおけるアフリカモンスーン変動



## 大会第3日〔11月18日(金)〕 13:30~17:00 一般口頭発表

### B 会場

#### スペシャル・セッション「大気中の二酸化炭素観測手法の新たな展開とそのデータ利用」

座長：川上修司（JAXA）

- B351 \*坪井 一寛（気象研） 気象庁における二酸化炭素の長期観測とその高度化  
 B352 \*町田 敏暢（環境研） 民間航空機を利用した二酸化炭素観測（CONTRAIL プロジェクト）の展開とデータの特性  
 B353 \*青木 周司（東北大院理） 大気球を用いた成層圏の二酸化炭素観測  
 B354 松見 豊（名大STE研） 気球CO<sub>2</sub>ゾンデの開発とCO<sub>2</sub>高度分布計測  
 B355 \*森野 勇（環境研） The Total Carbon Column Observing Network (TCCON)  
 B356 田中 智章（JAXA/EORC） つくばにおける地上設置高分解能フーリエ分光計の検定とGOSAT データプロダクトの検証を目的としたCO<sub>2</sub>とCH<sub>4</sub>の航空機観測  
 B357 大山 博史（JAXA/EORC） 船舶搭載高分解能FTSによる海洋上温室効果ガスカラム平均濃度の観測

座長：長澤親生（首都大）

- B358 伊吹 紀男（京大院工） 大気中CO<sub>2</sub>およびCH<sub>4</sub>気柱量測定装置としての光スペクトラムアナライザの実用性  
 B359 境澤 大亮（JAXA/EORC） 1.57- $\mu$ m 帯CO<sub>2</sub>測定用LASの航空機搭載試験の観測精度について  
 B360 石井 昌憲（NICT） コヒーレント差分吸収ライダーを用いて2011年1・2月に行われたCO<sub>2</sub>濃度計測の結果について  
 B361 阿保 真（首都大システムデザイン） 1.6 $\mu$ m 差分吸収ライダーによるCO<sub>2</sub>濃度鉛直分布の高精度観測  
 B362 亀山 俊平（情報技術総合研究所） 衛星搭載1.6 $\mu$ m 帯CW変調CO<sub>2</sub>計測LASにおけるエアロゾルエコーの影響に関する検討  
 B363 今城 勝治（三菱電機（株）） FMCW変調方式1.6 $\mu$ m 帯CO<sub>2</sub>計測LASの開発  
 B364 \*吉田 幸生（環境研） GOSAT TANSO-FTS SWIR による二酸化炭素カラム平均濃度の観測

座長：内野 修（環境研）

- B365 井上 誠（環境研） 航空機観測データを用いたGOSAT TANSO-FTS SWIR XCO<sub>2</sub>プロダクトの検証  
 B366 \*齋藤 尚子（千葉大CEReS） GOSAT/TANSO-FTSによるCO<sub>2</sub>濃度鉛直分布の観測  
 B367 \*丹羽 洋介（気象研） 熱帯のCO<sub>2</sub>フラックス推定に対する定期旅客機観測データのインパクト  
 B368 \*Maksyutov Shamil（環境研） Inverse modeling system for reconstruction of the regional CO<sub>2</sub> fluxes with GOSAT observations  
 B369 \*眞木 貴史（気象研） 実観測データを用いた炭素循環解析システムの構築  
 B370 横尾 好朗（東北大院理） MJ98-CDTMを用いた二酸化炭素データ同化実験  
 B371 市井 和仁（福島大理工） 大気逆解析モデルによる陸域CO<sub>2</sub>収支推定を利用した陸域炭素循環モデル改善への試み

\*講演・質疑時間：9分と2分

それ以外は講演・質疑時間：7分と2分

## 大会第3日〔11月18日(金)〕 13:30~17:00 一般口頭発表

### C 会場

#### スペシャル・セッション「東アジアモンスーンと黒潮 —中緯度大気海洋相互作用の再発見へ向けて—」

座長：立花義裕（三重大生物資源）

- C351 花輪 公雄（東北大院理） 北西太平洋セクターにおける大気変動と海洋変動 —アリューシャン低気圧の変動に対する海洋の応答—
- C352 杉本 周作（東北大院理） 黒潮親潮混合域における冬季海面乱流熱フラックス経年変動に果たす海面水温の役割について
- C353 野中 正見（JAMSTEC） 中緯度海洋前線帯における表層貯熱量、海面水温と海面熱 flux 変動
- C354 中村 啓彦（鹿大水産） 黒潮大蛇行と非大蛇行が日本南岸の気候に与える影響
- C355 佐藤 尚毅（東京学芸大） 関東地方南部における冬季の降水量の経年変化
- C356 磯辺 篤彦（愛媛大沿岸センター） 冬季温帯低気圧の発達過程における黄海・東シナ海の役割
- C357 塩田 美奈子（富山大院理工） 冬季黒潮流域における SST 前線と総観規模擾乱活動
- C358 飯塚 聡（防災科研） 黒潮続流域での冬季海面水温と降水量の年々変動
- C359 早崎 将光（富山大院理工） 春季日本に大規模降水をもたらす低気圧活動の動態

座長：川村隆一（富山大理工）

- C360 和田 章義（気象研） 成熟期の台風強度と海面水温の関係
- C361 三井 拓（長大水産環境） 初夏の東シナ海黒潮流域の海水温鉛直構造
- C362 佐藤 和敏（弘前大院理工） 黒潮が梅雨前線に及ぼす影響 ～5月の観測事例～
- C363 川合 義美（JAMSTEC/RIGC） 現場観測で捉えた水温フロントに対する大気応答
- C364 茂木 耕作（JAMSTEC/RIGC） 海洋混合層変動が決める東シナ海上の梅雨前線の季節進行
- C365 万田 敦昌（長大水産環境） 黄海・東シナ海における海洋混合層の水温の季節変動
- C366 佐藤 大卓（東大先端研） 暖候期北西太平洋域における雲・降水活動の季節進行
- C367 早坂 忠裕（東北大院理） 雲・放射エネルギーを介したモンスーンアジアの大気海洋相互作用

## 大会第3日 [ 11月18日(金) ] 13:30~17:00 一般口頭発表

### D 会場

#### 大気放射

座長：青木輝夫（気象研）

- D351 青木 輝夫（気象研） 積雪アルベド物理モデルの札幌における5冬期間の計算精度評価
- D352 石元 裕史（気象研） 複雑雪片モデルのマイクロ波散乱特性
- D353 内山 明博（気象研） 北極・ニューオルスン観測基地での混合相雲の微物理特性の測定と放射特性（1）
- D354 岡本 創（九大応力研） CloudSat-CALIPSOによる氷粒子の微物理特性：アルゴリズムの改良と微物理パラメータ間の関係
- D355 関口 美保（海洋大） ブロードバンドモデル MstrnX への非球形散乱過程の導入
- D356 竹中 栄晶（千葉大 CEReS） 準リアルタイム衛星推定全天日射量の SKYNET 日射計観測データによる地上検証

#### 気象教育

座長：加藤内藏進（岡山大教育）

- D357 初鹿 宏壮（富山県環境科学センター） 北東アジア自治体連合による黄砂の視程調査
- D358 大鐘 卓哉（小樽市博） 石狩湾における2011年の上位層気楼の観測結果
- D359 西垣 語人（日本橋学館大リベラルアーツ） 信号検出理論に基づいたスコアの正しい認識による検証方法
- D360 松本 教久（東洋大院生命科学） 環境気象と動物行動の複雑性との関係について—ダミー変数を用いた局所的フラクタル次元解析—
- D361 加藤 内藏進（岡山大教育理科） 日本の秋から冬への遷移期における気象特性の解析（古典文学の季節感を絡めた気象教育素材も意識して）

## 大会第1日〔11月16日(水)〕 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P101 中村 一樹 (北大院地球環境) トマムにおける雲海発生メカニズムの研究と観光・教育への応用
- P102 八坂 陽範 (防衛大地球海洋) ヤマセに伴って発生した下層雲の変質過程
- P103 福原 隆彰 (鉄道総研) 2011年に発生したやまじ風について
- P104 加藤 隆之 (筑波大院生命環境) 湖盆地形における局地気流モデルの開発
- P105 清水 昭吾 (首都大院都市環境) 都市内緑地による冷気のにじみ出し現象 ―自然教育園における観測結果―
- P106 大和 広明 (首都大院都市環境) 夏季日中の関東平野内陸部の高温と海風前線の関係
- P107 中川 清隆 (立正大地球環境) 2009年12月~2011年5月に埼玉県熊谷市郊外で観測された高度別夜間接地逆転強度の風速および有効放射依存性の比較
- P108 大塚 清敏 (大林組技研) 小型ドップラーライダー観測による市街地境界層の風観測
- P109 青柳 曉典 (気象研) 多層都市キャノピースキームの開発―多層放射モデル―
- P110 栗田 進 (気象研) 粗度・ゼロ面変位の安定度依存性など新たな地表面過程からみた気象・気候モデルの高分解能化に伴う問題点
- P111 安藤 紘基 (宇宙研) 金星・火星大気における大気重力波の鉛直波数スペクトル
- P112 圓井 拓哉 (九大院理) アリュージョン低気圧・アイスランド低気圧と移動性高低気圧との関係
- P113 稲津 将 (北大院理) 日本付近の冬季の温帯低気圧頻度
- P114 森 佳祐 (北大院環境) 北海道における昇温事例の時空間的特徴についての統計解析
- P115 萩野谷 成徳 (気象研) チベット高原ナム湖域の雲量日変化
- P116 小林 ちあき (気象研) 従来型観測データのみを用いた長期再解析データの作成
- P117 高橋 信人 (宮城大) 夏期における日本付近の前線帯の年代別特徴
- P118 早坂 忠裕 (東北大院理) 東アジア域とサハラ砂漠域のダストが雲に与える影響の比較検討
- P119 白津 史也 (名大院環境) 熱帯降雨観測衛星 TRMM を用いたバングラデシュ周辺における降水活動の特徴
- P120 松岡 沙希 (山口大工) 国内における1990年以降の全天日射量の増加傾向に関する解析
- P121 朝倉 利員 (果樹研) 2010年3月に発生した果樹の晩霜害と被害発生に係る気象的要因
- P122 岡田 将誌 (筑波大院生命環境) 農業水資源の変動を考慮した作物生産量予測
- P123 道広 有理 (京大防災研) CMIP3 マルチ気候モデルを用いた現在気候再現性指標の関係性について
- P124 花房 瑞樹 (気象研) 高解像度日本域領域モデルによる中部山岳域の降水の気候再現性について
- P125 井上 知栄 (筑波大院生命環境) 温暖化時の梅雨明けと SST 昇温パターンに関する AGCM 実験
- P126 荒川 隆 (RIST) 21世紀気候変動予測革新プログラムにおけるカップラー開発 (最終報)
- P127 風間 沙都美 (筑波大院生命環境) 温暖化に伴う南アジア域における冬季降水量の減少要因
- P128 加藤 悦史 (JAMSTEC/RIGC) RCP 土地利用変化シナリオによる土地利用変化炭素排出と気候への影響
- P129 阿部 学 (環境研) CO<sub>2</sub>の瞬時強制による降水量変化に対する気孔コンダクタンス変化の効果
- P130 釜江 陽一 (筑波大院生命環境) 古植生記録を用いた温暖な鮮新世中期における気候再現性の検証
- P131 小守 信正 (地球シミュレータ) 大気海洋結合アンサンブルデータ同化システム CFES-LETKF の開発
- P132 丸山 文男 (名大院環境) レジーム・シフトと大気と海洋の時系列のフラクタル性の変化の関係 II
- P133 山本 一輝 (富山大院理工) ENSO 衰退, 発達期における熱帯対流活動の非対称性: 自己組織化マップの適用

## 大会第1日〔11月16日(水)〕 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P134 井上 豊志郎 (東大大気海洋研) 雲システム解像モデルでシミュレートされたアフリカ南部における降水の半日変化
- P135 重里 昌 (東京海上研究所) 確率台風モデルを用いた近未来の台風変化予測
- P136 相澤 拓郎 (筑波大院生命環境) 全球雲解像モデルで再現された強い台風の傾度風バランスと非軸対称の強度
- P137 栢原 孝浩 (防災科研) 極端気象データベース—過去の雨量画像情報—
- P138 橋本 明弘 (気象研) 早明浦ダムを対象とする暖候期雲シーディングの模擬的数値実験
- P139 田尻 拓也 (気象研) MRI 雲生成チェンバーによる人工降雨基礎実験 吸湿性粒子シーディングの評価 (その2)
- P140 豊田 友英 (筑波大院生命環境) 冬季降雪雲に対する数値モデルを用いた最適シーディング法についての研究 (その3)
- P141 鈴木 聡 (東大生産研) CloudSat プロダクトにみられる雲頂高度・雲粒有効半径の関係
- P142 瀧瀬 丈晴 (名大地球水循環) X バンド偏波レーダーで観測された雪結晶の偏波特性 —HYVIS との比較—
- P143 尾上 万里子 (名大地球水循環) 梅雨期沖縄域における層状性降水域の氷粒子観測
- P144 清水 慎吾 (防災科研) 高時間分解能セクタースキャンによる積乱雲内の熱力学場リトリバル法の開発
- P145 中井 専人 (防災科研雪氷) 長岡レーダーによる海陸別平均降雪強度と大気状態との比較
- P146 金 東順 (防災科研) 国土交通省 X バンドマルチパラメータレーダの1分毎雨量データを用いた対流性降水の解析
- P147 金 東順 (防災科研) X バンドマルチパラメータレーダにより観測された局地的大雨の雲物理学的構造 —2008年8月5日の雑司が谷豪雨の事例解析—
- P148 櫻井 南海子 (防災科研) ka バンドレーダを用いた積乱雲発生初期の観測
- P149 櫻井 南海子 (防災科研) 関東地方の暖候期に発生する雷雲の内部構造 —偏波パラメータで見た落雷位置上空における雷雲の特徴—
- P150 石井 恭介 (筑波大院生命環境) 冬季の北陸地方・関東沖に落雷多発をもたらす総観場の特徴
- P151 益子 涉 (気象研) 関東平野で発生する竜巻の環境場の特徴
- P152 谷口 智美 (名大地球水循環) 2009年8月9日兵庫県西部における停滞性降水システムの数値シミュレーション
- P153 津口 裕茂 (気象研) 2010年10月20日の“奄美豪雨”の発生要因について (その2)~ 気団変質過程による暖湿気塊の形成 ~
- P154 佐野 哲也 (山梨大国際流域) 夏季に山岳域で長時間停滞かつ維持した積乱雲を構成する降水セルの振る舞いと構造
- P155 斉藤 和雄 (気象研) 2008年8月5日首都圏局地的大雨の雲解像アンサンブル実験 (その3 検証)
- P156 村崎 万代 (気象研) JMANHM による冬季日本海側の降水予測精度の検証
- P157 安田 孝志 (岐阜大工) 降雨境界の移動誤差補正による降水ナウキャストの精度改善の試み
- P158 新堀 敏基 (気象研) 2011年霧島山 (新燃岳) 噴火に伴う降灰予報の検証
- P159 金浜 貴史 (気象庁数値予報) 非地形性重力波抵抗スキームの気象庁全球モデルへのインパクト
- P160 長浜 芳寛 (環境研) FTIR を用いた 2007 年南極における成層圏大気微量成分の観測と脱窒によるオゾン破壊メカニズム
- P161 出牛 真 (気象研) 光化学オキシダント予測システム精度検証のための対流圏オゾンライダー観測
- P162 原 圭一郎 (福岡大理) 南極対流圏中の海塩粒子: 変質と組成分別

## 大会第1日〔11月16日(水)〕 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P163 一柳 錦平(熊本大) 中部ベトナムにおける降水安定同位体比の変動特性
- P164 柚山 洋一(岡山大院環境) 高山森林流域における水収支の解析
- P165 田中 泰宙(気象研) 次期全球エアロゾル予測モデルの開発: エアロゾル予測の高度化に向けて
- P166 渡辺 幸一(富山県立大) 回転翼航空機を利用した富山県上空の過酸化水素濃度の測定
- P167 佐川 正人(釧路高専) 北海道釧路市に出現する霧の酸性度と電気伝導度
- P168 東野 美和(奈良女子大院人間文化) TANSO-FTS 近赤外チャンネルで観測されたメタン気柱平均濃度の検証解析
- P169 梶原 大輔(岡山大院環境) 単作田と二毛作田における CO<sub>2</sub> フラックスの経年変動
- P170 大月 基(岡山大院環境) 衛星データによる北方林火災跡での二酸化炭素交換量の推定に関する研究
- P171 朽木 勝幸(気象研) つくばにおける大気エアロゾル中炭素成分の季節変動
- P172 Khatri Pradeep(千葉大 CEReS) Light absorptive dust aerosols and their effects on atmospheric heat budget over the East China Sea region in the spring season
- P173 財前 祐二(気象研) 黄砂イベントにおける微小鉱物粒子の粒径分布と混合状態
- P174 松木 篤(金沢大 FSO) 黄砂飛来時における UV-APS を用いた蛍光粒子観測
- P175 山田 丸(金沢大) OPC ゾンデを用いた黄砂発生源上空の粒子数濃度—粒径分布の鉛直分布観測: 2010年9月15日の事例解析と過去の観測結果との比較
- P176 中村 麻耶(奈良女子大院人間文化) スカイラジオメータ観測による広域海上エアロゾルに関する研究
- P177 齊藤 秀太郎(海洋大院) MODIS データを用いた雲・エアロゾル相互作用の評価
- P178 黒木 翔太(九大院総理工) 衛星搭載ライダーを用いたエアロゾル特性の研究
- P179 Husi Letu(東海大 TRIC) Ice crystals scattering database for GCOM-C/SGLI—Comparison of Lisas/SIEMM and FDTD method—
- P180 増田 一彦(気象研) 幾何光学近似手法の適用範囲
- P181 藪 将吉(気象研) 気象庁全球大気モデルにおける散乱を考慮した長波放射スキームの開発
- P182 小林 隆久(気象研) 太陽光発電のための任意傾斜面入射光の計算—直達・散乱光計算モデル—
- P183 大竹 秀明(産総研) 太陽光発電量予測に向けた短波放射量予測の検証 —週間予報モデル(GSM)—
- P184 宇野 史睦(筑波大院生命環境) 雲の発生高度別の日射透過率を用いた雲の日射量変動に及ぼす影響
- P185 藤井 秀幸(JAXA) チベット高原におけるマイクロ波放射計 AMSR-E による土壌水分観測
- P186 稲子谷 昂子(東大大気海洋研) GOSAT 衛星を用いたフロン類の大気中濃度解析
- P187 斎藤 篤思(気象研) 氷晶核測定装置の測定精度の検証
- P188 民田 晴也(名大地球水循環) 小型降水粒子観測プローブの開発
- P189 平形 麻紀(JAXA/EORC) CloudSat/CALIPSO の複合利用による雲粒子タイプ識別の初期所見
- P190 谷口 藍奈(京大院理) マイクロ波放射計降水強度推定改良のための地形性降雨の解析
- P191 真木 雅之(防災科研) X バンドマルチパラメータレーダによる山岳域の降雨量推定 —地形によるレーダビームの部分遮蔽の補正方法—
- P192 佐藤 一敏(京大国際融合) 高水平分解能 GNSS 可降水量導出精度検証実験
- P193 中村 健治(名大地球水循環) TRMM PR プロダクト V7 の評価
- P194 Wetchayont Parichat(東北大院理) On the calibration of Thailand Weather Radar
- P195 真鍋 和太(京大院理) マイクロ波放射計降水強度推定改良のための熱帯低気圧の降水プロファイル解析

## 大会第3日〔11月18日(金)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P301 森口 匡俊 (防衛大地球海洋) 霞ヶ浦飛行場における霧の特徴
- P302 田畑 弾 (日大文理) KBS 気圧データを用いた気圧急変動現象解析(2)
- P303 稲村 友彦 (首都大院都市環境) 長期間の地上観測データに基づく局地風「まつぼり風」の時空間分布に関する研究
- P304 古本 淳一 (京大生存研) 滋賀・青森をフィールドとした特徴的大気現象の精密測定と物質循環
- P305 紺野 祥平 (首都大院都市環境) 関東平野西部の山地斜面で捉えられた斜面温暖帯
- P306 田中 翔太 (筑波大院生命環境) 統計解析からみられる岐阜県多治見市の気温特性
- P307 瀬戸 芳一 (首都大院都市環境) 関東平野における夏季海風日の収束・発散場と局地循環の日変化
- P308 吉倉 智美 (筑波大院生命環境) ヒートアイランドの形成に及ぼす力学的混合の効果
- P309 清野 直子 (気象研) 東京における赤外放射観測
- P310 泉 岳樹 (首都大院都市環境) 中国武漢の都市化に伴う熱環境変化に関する数値シミュレーション—1991年と2005年の衛星画像を用いて—
- P311 山下 はづき (九大院理) テレコネクションパターンの成因—中立特異モードと純粋な低周波変動からのアプローチ—
- P312 平岡 愛 (富山大院理工) 2010/11年冬季における富山の降水起源と日本近海の低気圧活動
- P313 山下 吉隆 (富山大院理工) 冬季日本の降水イベントの将来変化と爆弾低気圧活動との関係
- P314 小池 崇子 (ALRC) モンゴルにおける降水前後の気温変化
- P315 猪上 淳 (JAMSTEC/RIGC) 海氷の扱いに着目した北極海上の再解析データの相互比較—北極観測航海データによる検証—
- P316 永野 良紀 (日大文理) 夏季におけるオホーツク海上の高気圧の客観分類
- P317 大島 和裕 (地球研) レナ川中流のタバガにおける河川流量変動に影響を及ぼす大気循環と水蒸気輸送
- P318 木部 亜有美 (筑波大院生命環境) 冬季日本の降雪変動に寄与する対流活発域の特定
- P319 ラーマット ヒダヤット (JAMSTEC/RIGC) Interannual rainfall variability over the northwest Java, Indonesia
- P320 杉山 聡 (NTT 環境研) 全球気候モデル計算結果を用いた雷の傾向の分析(2)
- P321 増富 祐司 (埼玉県環境科学国際センター) 気候変動が野菜出荷量に及ぼす影響の評価
- P322 西森 基貴 (農環研) 日本域における同じ境界条件による統計的/力学的ダウンスケーリング結果の比較
- P323 花房 瑞樹 (気象研) AGCM にネストした NHRCM による地上風の再現性
- P324 村田 昭彦 (気象研) AGCM にネストした NHRCM による地上気温の再現性
- P325 佐々木 秀孝 (気象研) AGCM にネストした NHRCM による温暖化実験—寒候期—
- P326 飯泉 仁之直 (農環研) 日本の地点・日別気候変化シナリオデータセットから得られた農業気候指標の将来変化
- P327 水田 亮 (気象研) 高解像度大気モデルでの中緯度対流圏中上層の将来変化
- P328 日谷 道夫 (気象研) AGCM にネストした NHRCM による温暖化実験—都市域の降雪—
- P329 西澤 慶一 (電中研) 南北1次元のエネルギー収支モデルを用いた平衡気候感度の見積もり
- P330 戸田 求 (北大院地球環境) 台風攪乱後の森林における生態系生産量増加の要因解析
- P331 保坂 征宏 (気象研) 陸面モデル HAL の開発ポリシー
- P332 大庭 雅道 (電中研) インド洋が ENSO の非対称性とその予測に果たす役割
- P333 湯田 有希 (筑波大院生命環境) 東部太平洋における Double ITCZ の発生機構
- P334 服部 美紀 (JAMSTEC/RIGC) ALERA2 を用いた VPREX2010 ゾンデデータの同化インパクト

## 大会第3日〔11月18日(金)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P335 和田 章義 (気象研) 2011年台風 Ma-on における台風海洋相互作用
- P336 柳瀬 亘 (東大地球海洋研) 熱帯低気圧・温帯低気圧の発達と構造変化の統計解析
- P337 藤田 実季子 (JAMSTEC/RIGC) 関東域の気候再現実験における過去40年間の降水とその変動の再現性
- P338 マルヤディ アリ (防衛大地球海洋) Artificial Seeding Simulation Using Dry Ice in Kupang Indonesia
- P339 小池 克征 (いであ) 人工降雪実験時におけるシーディング評価期間の推定に関する研究
- P340 折笠 成宏 (気象研) Xバンド及びKaバンドレーダ観測によるシーディング効果の統計的特徴
- P341 佐藤 陽祐 (東大地球海洋研) ビン型雲モデルを用いた東部太平洋における層積雲の再現実験 ~その2境界層高度に関する感度実験~
- P342 堀内 征太郎 (名大地球水循環) 層状性降水域と対流性降水域におけるZhとZDRの鉛直プロファイル
- P343 山本 宗尚 (千葉大 CEReS) 衛星データを用いた沖縄周辺域の梅雨期降水に対する雲解像モデル結果の検討
- P344 大東 忠保 (名大地球水循環) 山岳風上における降雪強化とその領域の偏波パラメータの特徴
- P345 小林 文明 (防衛大地球海洋) 衛星ラピッドスキャンデータ・レーダー・可視画像を用いた孤立積乱雲の発生過程
- P346 三隅 良平 (防災科研) 局地的豪雨をもたらす積乱雲の対流ターレットの挙動: 事例解析
- P347 林 修吾 (気象研) 雷放電数とアメダス10分値によるシビア現象との関係
- P348 植木 綾乃 (筑波大院生命環境) 気象庁非静力学モデルによるスーパーセル竜巻の発生過程の解析
- P349 藤原 忠誠 (気象研) 冬季にドップラーライダー・レーダーで観測したミニスーパーセルに伴う「不可視海上竜巻」
- P350 瀬古 弘 (気象研) 2010年10月13日に発生した雷雨の特徴と再現実験
- P351 中村 東奈 (九大院理) 梅雨前線の折れ曲がりによる大雨をもたらした擾乱における非断熱加熱の役割
- P352 馬場 賢治 (酪大環境) 2010年7月14日近畿地方で発生した線状降水帯の構造と維持過程について
- P353 田上 みゆき (九大院理) 2010年10月20日奄美豪雨の解析
- P354 鈴木 修 (気象研) 局地的豪雨を引き起こす収束の効果を調べる観測システムシミュレーション実験
- P355 服部 美紀 (JAMSTEC/RIGC) HARIMAU2010集中観測におけるNHM予報実験の検証
- P356 山田 芳則 (気象研) 気象庁非静力学モデルのバルク微物理モデルに組み込んだオプション
- P357 福井 真 (東北大院理) アンサンブルダウンスケールによるヤマセの予報実験
- P358 西垣 語人 (日本橋学館大リベラルアーツ) 射影幾何学に基づいたスコアの正しい認識による検証方法
- P359 越智 健太 (気象大) 全大気圏統合モデル(GAIA)を用いた2009年1月成層圏突然昇温の解析
- P360 池田 恒平 (JAMSTEC/RIGC) 領域気象モデルWRFにおける日本域の降水の再現性検証
- P361 上村 清二 (防衛大地球海洋) 降水による超浅海の海水温度への影響と音波伝搬特性
- P362 高倉 典子 (奈良女子大院人間文化) 東アジアにおける対流圏オゾン気柱量の起源分類—タグ付きトレーザー実験に基づく対流圏内の領域別解析—
- P363 藤吉 康志 (北大低温研) レーザー分光法を用いた水蒸気の安定同位体比の連続測定—札幌での短時間変動特性の季節変化と日本海での船上観測結果—
- P364 直江 寛明 (気象研) 冬季新穂高で観測されたエアロゾル粒子の組成と混合状態
- P365 真野 裕三 (気象研) 静止気象衛星から求めた陸域エアロゾル



## 大会第3日〔11月18日(金)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P366 渡辺 幸一 (富山県立大) 立山における霧水・降水化学および大気エアロゾルの観測
- P367 吉崎 早苗 (奈良女子大院人間文化) SCIAMACHY センサで観測されたアジア域におけるメタン変動の研究— 地表面冠水率 植生指数 HotSpot 件数のデータを用いた解析 —
- P368 川上 修司 (JAXA/EORC) GOSAT データ検証のための地上高分解能 FTS による二酸化炭素およびメタンの気柱量の長期観測
- P369 東 良美 (奈良女子大院人間文化) 東南アジアにおけるバイオマスバーニングによって発生する CO<sub>2</sub> に関する研究
- P370 村山 昌平 (産総研) 飛騨高山サイトにおける森林内 CO<sub>2</sub> 濃度の日内振幅の長期変動
- P371 石井 勇希 (山梨大院医工) 山梨県で採取されたエアロゾル中の水溶性有機炭素の化学的性状と起源に関する研究
- P372 清水 俊成 (名大院環境) 硫酸塩生成におけるダストの影響: 全球化学・エアロゾル輸送モデルの改良と検証
- P373 康 禎允 (気象研) Dust simulation using new dust emission scheme in WRF/Chem and validation with observation data
- P374 原 由香里 (環境研) データ同化ダスト輸送モデルによる秋季大規模黄砂の解析
- P375 黒崎 泰典 (鳥大乾地研) モンゴルの測候所観測におけるダスト判別基準
- P376 山崎 明宏 (気象研) スカイラジオメーターが観測した北極域混合相雲集中観測期間中のエアロゾル光学特性
- P377 小林 有友 (富山大院理工) 環日本海域における黄砂粒子の光学的特性の空間分布
- P378 工藤 玲 (気象研) 光吸収性エアロゾルの大気境界層構造への影響
- P379 松本 拓也 (九大応力研) 水平に配向した板状氷粒子によるライダー後方散乱特性の研究
- P380 橋本 真喜子 (東大大気海洋研) SKYNET データ解析における品質管理の改善と一次散乱アルベドの評価
- P381 吉田 龍平 (農環研) 力学モデルと統計モデルによる現在気候における下向き短波放射量と気温の相互比較
- P382 大竹 秀明 (産総研) 太陽光発電量予測に向けた短波放射量予測の検証 —メソ気象数値予報モデル(MSM)—
- P383 深堀 正志 (気象大) 各種地表面の波長別アルベドの観測
- P384 関 隆則 (気象予報士会) 2010年11月~2011年4月の船橋市における結氷観測
- P385 安田 倫己 (静岡県立大院) ポータブル CO<sub>2</sub> 環境計測器の製作と多点観測への活用
- P386 中島 孝 (東海大 TRIC) 可視赤外イメージャーの雲判別性能に関する基礎調査 (その1)
- P387 椎名 徹 (富山高専) Kバンド小型レーダーを用いた降雪情報の取得
- P388 扇澤 一平 (三菱電機特機) Xバンド半導体気象レーダの開発
- P389 松井 隆 (東海大 TRIC) ビン法雲モデルによる水雲シミュレーションに基づいた衛星観測雲粒有効半径と鉛直不均質性の関係の解釈
- P390 足立 アホロ (気象研) レーダーシミュレーターの偏波レーダー観測への応用 (その2) 反射因子差を用いた降水強度推定手法の特性
- P391 山本 真之 (京大生存研) KaバンドFMCW ドップラー気象レーダーとマイクロレインレーダー・Lバンドウィンドプロファイラーとの比較観測
- P392 山本 真之 (京大生存研) 局地観測用 Xバンド気象レーダーとマイクロレインレーダー・Lバンドウィンドプロファイラーの比較観測
- P393 山上 和浩 (名大院環境) XバンドMPレーダと熱帯降雨観測衛星 TRMM レーダの降水データの比較
- P394 徳野 正己 (気象研) 水蒸気チャンネルによる台風の眼の観測

## 講演者索引

## &lt; A &gt;

Abe Koichi (阿部 康一)	A205
Abe Manabu (阿部 学)	P129
Abo Makoto (阿保 真)	B361
Adachi Ahoro (足立 アホロ)	P390
Adachi Yukimasa (足立 恭将)	A352
Aizawa Takuro (相澤 拓郎)	P136
Akiyoshi Hideharu (秋吉 英治)	D164
Aoki Shuji (青木 周司)	B353
Aoki Teruo (青木 輝夫)	D351
Aonashi Kazumasa (青梨 和正)	B111
Aonashi Kazumasa (青梨 和正)	B210
Aoyagi Toshinori (青柳 曉典)	P109
Arai Naoki (新井 直樹)	C305
Arakawa Takashi (荒川 隆)	P126
Araki Kentaro (荒木 健太郎)	C155
Araki Kentaro (荒木 健太郎)	C167
Ari Maryadi (マルヤディ アリ)	P338
Asakura Toshikazu (朝倉 利貞)	P121
Azuma Yoshimi (東 良美)	P369
Ando Hiroki (安藤 紘基)	P111

## &lt; B &gt;

Baba Kenji (馬場 賢治)	C171
Baba Kenji (馬場 賢治)	P352

## &lt; D &gt;

Deushi Makoto (出牛 真)	P161
Dimri Ashok	A157
Doi Shuji (土井 修二)	C309

## &lt; E &gt;

Enomoto Takeshi (榎本 剛)	B201
------------------------	------

## &lt; F &gt;

Fudeyasu Hironori (筆保 弘徳)	B162
Fujibe Fumiaki (藤部 文昭)	A159
Fujii Akira (藤井 聡)	A163
Fujii Akira (藤井 聡)	C314
Fujii Hideyuki (藤井 秀幸)	P185
Fujii Kanji (藤井 貫志)	B116
Fujita Mikiko (藤田 実季子)	P337

Fujita Tadashi (藤田 匡)	B213
Fujiwara Chusei (藤原 忠誠)	P349
Fujiyoshi Yasushi (藤吉 康志)	P363
Fukabori Masashi (深堀 正志)	P383
Fukuhara Takaaki (福原 隆彰)	P103
Fukui Shin (福井 真)	P357
Fukutomi Yoshiki (福富 慶樹)	B156
Furuhashi Kazuki (古橋 和樹)	D306
Furumoto Jun-ichi (古本 淳一)	P304

## &lt; G &gt;

Goto Daisuke (五藤 大輔)	D161
----------------------	------

## &lt; H &gt;

Haginoya Shigenori (萩野谷 成徳)	P115
Hamada Atsushi (濱田 篤)	C109
Hanafusa Mizuki (花房 瑞樹)	P124
Hanafusa Mizuki (花房 瑞樹)	P323
Hanawa Kimio (花輪 公雄)	C351
Hara Keiichiro (原 圭一郎)	P162
Hara Yukari (原 由香里)	P374
Harada Yusuke (原田 祐輔)	A152
Hasegawa Akira (長谷川 聡)	A106
Hashiguchi Hiroyuki (橋口 浩之)	B107
Hashimoto Akihiro (橋本 明弘)	P138
Hashimoto Makiko (橋本 真喜子)	P380
Hatsushika Hiroaki (初鹿 宏壮)	D357
Hattori Miki (服部 美紀)	P334
Hattori Miki (服部 美紀)	P355
Hayasaka Tadahiro (早坂 忠裕)	C367
Hayasaka Tadahiro (早坂 忠裕)	P118
Hayasaki Masamitsu (早崎 将光)	C359
Hayashi Masahiko (林 政彦)	D157
Hayashi Syugo (林 修吾)	P347
Hinokio Moriaki (檜尾 守昭)	C116
Hirahara Shoji (平原 翔二)	A164
Hirai Suguru (平井 傑)	D307
Hirakata Maki (平形 麻紀)	P189
Hiramatsu Akio (平松 章男)	C304
Hiraoka Ai (平岡 愛)	P312
Hirasawa Naohiko (平沢 尚彦)	B306
Hirokawa Yasutaka (廣川 康隆)	C118

Hirose Masafumi (広瀬 正史)	C110
Hirota Nagio (廣田 渚郎)	A103
Hitani Michio (日谷 道夫)	P328
Honda Takumi (本田 匠)	C152
Horie Hiroaki (堀江 宏昭)	B113
Horinouchi Takeshi (堀之内 武)	D112
Horinouchi Takeshi (堀之内 武)	D204
Horiuchi Seitaro (堀内 征太郎)	P342
Hosaka Masahiro (保坂 征宏)	P331
Hoshino Shunsuke (星野 俊介)	B165
Husi Letu	P179

## &lt; I &gt;

Ibuki Toshio (伊吹 紀男)	B358
Ichii Kazuhito (市井 和仁)	B371
Ichivanagi Kimpei (一柳 錦平)	P163
Igarashi Yasuhito (五十嵐 康人)	A212
Iguchi Toshio (井口 俊夫)	C108
Iizuka Satoshi (飯塚 聡)	C358
Iizumi Toshichika (飯泉 仁之直)	P326
Ikeda Kohei (池田 恒平)	P360
Ikeda Ryosaku (池田 亮作)	D302
Ikegawa Shinichi (池川 慎一)	D115
Imada Yukiko (今田 由紀子)	A359
Imaki Masaharu (今城 勝治)	B363
Imamura Takeshi (今村 剛)	D114
Inagoya Akiko (稲子谷 昂子)	P186
Inamura Tomohiko (稲村 友彦)	P303
Inatsu Masaru (稲津 将)	P113
Inoue Hanako (猪上 華子)	C157
Inoue Jun (猪上 淳)	B301
Inoue Jun (猪上 淳)	P315
Inoue Makoto (井上 誠)	B365
Inoue Tadao (井上 忠雄)	A158
Inoue Tomoshige (井上 知栄)	P125
Inoue Toshio (井上 豊志郎)	P134
Irie Hitoshi (入江 仁士)	D167
Ishibashi Toshiyuki (石橋 俊之)	B206
Ishii Kyousuke (石井 恭介)	P150
Ishii Shoken (石井 昌憲)	B360
Ishii Yuki (石井 勇希)	P371
Ishimoto Hiroshi (石元 裕史)	D352
Ishiwatari Masaki (石渡 正樹)	D111

- Ishizaka Masaaki (石坂 雅昭) C213  
 Isobe Atsuhiko (磯辺 篤彦) C356  
 Itahashi Syuichi (板橋 秀一) D171  
 Ito Akinori (伊藤 彰記) D162  
 Ito Junshi (伊藤 純至) D304  
 Itou Takashi (伊藤 孝志) C311  
 Iwanami Koyuru (岩波 越) C211  
 Iwasaki Hiroyuki (岩崎 博之) C208  
 Iwasaki Hiroyuki (岩崎 博之) C209  
 Iwasaki Sugunori (岩崎 杉紀) C206  
 Iwayama Takahiro (岩山 隆寛) D107  
 Izumi Takeki (泉 岳樹) P310
- < J >
- Jin Yoshitaka (神 慶孝) D154  
 Jitsumoto Masaki (実本 正樹) C310  
 Juri Akira (重里 昌) P135
- < K >
- Kachi Misako (可知 美佐子) C107  
 Kajihara Daisuke (梶原 大輔) P169  
 Kajikawa Yoshiyuki (梶川 義幸) A154  
 Kajino Mizuo (梶野 瑞王) A209  
 Kajino Mizuo (梶野 瑞王) D163  
 Kamae Youichi (釜江 陽一) A367  
 Kamae Youichi (釜江 陽一) P130  
 Kamahori Hirotaka (釜堀 弘隆) A151  
 Kameyama Shumpei (亀山 俊平) B362  
 Kamimura Seiji (上村 清二) P361  
 Kanada Sachie (金田 幸恵) A310  
 Kanada Sachie (金田 幸恵) C104  
 Kanehama Takafumi (金浜 貴史) P159  
 Kanemaru Kaya (金丸 佳矢) B168  
 Kaneyasu Naoki (兼保 直樹) D158  
 Kang Jung-yoon (康 禎允) P373  
 Kato Etsushi (加藤 悦史) P128  
 Kato Kuranoshin (加藤 内藏進) C302  
 Kato Kuranoshin (加藤 内藏進) D361  
 Kato Masaya (加藤 雅也) A210  
 Kato Takayuki (加藤 隆之) P104  
 Kato Teruyuki (加藤 輝之) C114  
 Kato Teruyuki (加藤 輝之) C169  
 Kawabata Takuya (川畑 拓矢) B211  
 Kawai Hideaki (川合 秀明) D305  
 Kawai Yoshimi (川合 義美) C363  
 Kawakami Shuji (川上 修司) P368  
 Kawatani Yoshio (河谷 芳雄) D210  
 Kayahara Takahiro (栢原 孝浩) P137  
 Kazama Satomi (風間 沙都美) P127  
 Khatri Pradeep P172  
 Kibe Ayumi (木部 亜有美) P318  
 Kikuchi Katsuhiko (菊地 勝弘) C201  
 Kikuchi Katsuhiko (菊地 勝弘) C202  
 Kim Dong-soon (金 東順) P146  
 Kim Dong-soon (金 東順) P147  
 Kinoshita Masashi (木下 仁) D102  
 Kinoshita Takenari (木下 武也) D205  
 Kinoshita Youhei (木下 陽平) C113  
 Kita Kazuyuki (北 和之) A202  
 Kitabatake Naoko (北畠 尚子) B167  
 Kitamura Yuji (北村 祐二) D303  
 Kobayashi Chiaki (小林 ちあき) P116  
 Kobayashi Fumiaki (小林 文明) C164  
 Kobayashi Fumiaki (小林 文明) P345  
 Kobayashi Hiroshi (小林 拓) D151  
 Kobayashi Takahisa (小林 隆久) B112  
 Kobayashi Takahisa (小林 隆久) P182  
 Kobayashi Yusuke (小林 有友) P377  
 Kodera Kunihiko (小寺 邦彦) D203  
 Koga Yusaku (古賀 優作) D201  
 Kohma Masashi (高麗 正史) D207  
 Koike Katsuyuki (小池 克征) P339  
 Koike Takako (小池 崇子) P314  
 Komatsu Asami (小松 麻美) C172  
 Komatsu Asami (小松 麻美) C301  
 Komori Nobumasa (小守 信正) P131  
 Kondo Hiroaki (近藤 裕昭) A207  
 Konishi Hiroyuki (小西 啓之) C215  
 Konno Shohei (紺野 祥平) P305  
 Kono Hitoshi (河野 仁) D309  
 Kouketsu Takeharu (額瀨 丈晴) P142  
 Kuba Naomi (久芳 奈遠美) C204  
 Kubota Hisayuki (久保田 尚之) A155  
 Kubota Hisayuki (久保田 尚之) A303  
 Kuchiki Katsuyuki (朽木 勝幸) P171  
 Kudo Rei (工藤 玲) P378  
 Kumamoto Mariko (熊本 真理子) B101  
 Kurihara Kazuo (栗原 和夫) A108  
 Kurita Susumu (栗田 進) P110  
 Kuroda Tohru (黒田 徹) B214  
 Kuroda Yuhji (黒田 友二) B303  
 Kurogi Shota (黒木 翔太) P178  
 Kurosaki Yasunori (黒崎 泰典) P375  
 Kusabiraki Hiroshi (草間 浩) A354  
 Kusunoki Kenichi (楠 研一) C156  
 Kusunoki Kenichi (楠 研一) C165  
 Kusunoki Shoji (楠 昌司) A357
- < L >
- Laine Alexandre A111  
 Luce Hubert (ルース ウベルト) C115
- < M >
- Mabuchi Kazuo (馬淵 和雄) A355  
 Machida Toshinobu (町田 敏暢) B352  
 Maejima Yasumitsu (前島 康光) C151  
 Maki Masayuki (真木 雅之) C210  
 Maki Masayuki (真木 雅之) P191  
 Maki Takashi (眞木 貴史) A204  
 Maki Takashi (眞木 貴史) B369  
 Maksyutov Shamil B368  
 Manabe Kazuhiro (真鍋 和夫) P195  
 Manda Atsuyoshi (万田 敦昌) C365  
 Mano Yuzo (真野 裕三) P365  
 Marui Takuya (圓井 拓哉) P112  
 Maruyama Fumio (丸山 文男) P132  
 Marzuki (マルズキ) B151  
 Mashiko Wataru (益子 渉) C159  
 Mashiko Wataru (益子 渉) P151  
 Masuda Kazuhiko (増田 一彦) P180  
 Masutomi Yuji (増富 祐司) P321  
 Matsui Takashi (松井 隆) P389  
 Matsuki Atsushi (松木 篤) P174  
 Matsumi Yutaka (松見 豊) B104  
 Matsumi Yutaka (松見 豊) B354  
 Matsumoto Norihisa (松本 教久) D360  
 Matsumoto Takatsugu (松本 崇嗣) B152  
 Matsumoto Takuya (松本 拓也) P379  
 Matsuoka Saki (松岡 沙希) P120  
 Matsuura Yuki (松浦 由希) D152  
 Michihiro Yuri (道広 有理) P123  
 Michimoto Koichiro (道本 光一郎) C162  
 Michimoto Koichiro (道本 光一郎) C308

- Minda Haruya (民田 晴也) P188  
 Misumi Ryohei (三隅 良平) P346  
 Mitsuhata Toshiki (光畑 俊輝) A161  
 Mitsui Taku (三井 拓) C361  
 Miyamoto Kengo (宮本 健吾) B202  
 Miyamoto Yoshiaki (宮本 佳明) A306  
 Miyamoto Yoshiaki (宮本 佳明) B161  
 Mizuta Ryo (水田 亮) P327  
 Mori Keisuke (森 佳祐) P114  
 Mori Masato (森 正人) A309  
 Moriduka Nozomi (森塚 望) A160  
 Moriguchi Masatoshi (森口 匡俊) P301  
 Morino Isamu (森野 勇) B355  
 Moteki Qoosaku (茂木 耕作) C364  
 Motoyoshi Hiroki (本吉 弘岐) C214  
 Murakami Hideyo (村上 英世) A112  
 Murakami Hiroyuki (村上 裕之) A312  
 Murakami Masataka (村上 正隆) C203  
 Murakami Shigenori (村上 茂教) D109  
 Muramatsu Takanari (村松 貴有) C153  
 Murata Akihiko (村田 昭彦) P324  
 Murata Fumie (村田 文絵) B153  
 Murayama Shohei (村山 昌平) P370  
 Murazaki Kazuyo (村崎 万代) P156
- < N >  
 Nagahama Yoshihiro (長浜 芳寛) P160  
 Nagai Tomohiro (永井 智広) B103  
 Nagano Yoshinori (永野 良紀) P316  
 Nagashima Tatsuya (永島 達也) D170  
 Nakaegawa Toshiyuki (仲江川 敏之) A358  
 Nakagawa Kiyotaka (中川 清隆) P107  
 Nakai Sento (中井 専入) C212  
 Nakai Sento (中井 専入) P145  
 Nakajima Hideaki (中島 英彰) D165  
 Nakajima Takashi (中島 孝) P386  
 Nakamura Haruna (中村 東奈) P351  
 Nakamura Hirohiko (中村 啓彦) C354  
 Nakamura Kazuki (中村 一樹) P101  
 Nakamura Kenji (中村 健治) B110  
 Nakamura Kenji (中村 健治) P193  
 Nakamura Kozo (中村 晃三) D106  
 Nakamura Maya (中村 麻耶) P176  
 Nakamura Tetsu (中村 哲) D208
- Nakatsuru Takahiro (中津留 高広) A166  
 Nakayama Hideaki (中山 秀晃) C306  
 Naoe Hiroaki (直江 寛明) P364  
 Nasu Yuko (那須 侑子) D168  
 Nasuno Tomoe (那須野 智江) B158  
 Niboshi Yoshihiro (二星 義裕) D301  
 Ninomiya Kozo (二宮 洗三) C102  
 Ninomiya Kozo (二宮 洗三) C103  
 Nishi Noriyuki (西 憲敬) B171  
 Nishigaki Tsuguhito (西垣 語人) D359  
 Nishigaki Tsuguhito (西垣 語人) P358  
 Nishihashi Masahide (西橋 政秀) C161  
 Nishii Kazuaki (西井 和晃) B302  
 Nishimori Motoki (西森 基貴) P322  
 Nishimoto Eriko (西本 絵梨子) D209  
 Nishimura Nanako (西村 奈那子) A165  
 Nishizawa Keiichi (西澤 慶一) P329  
 Niwa Yosuke (丹羽 洋介) B367  
 Niwano Masashi (庭野 匡思) A364  
 Noda Akira (野田 彰) D108  
 Noda Satoshi (納多 哲史) D113  
 Nonaka Masami (野中 正見) C353
- < O >  
 Obata Atsushi (小畑 淳) A363  
 Ochi Kenta (越智 健太) P359  
 Ogata Koto (緒方 香都) B304  
 Ogisawa Ippei (扇澤 一平) P388  
 Ohba Masamichi (大庭 雅道) P332  
 Ohgaito Rumi (大垣 るみ) A368  
 Ohgane Takuya (大鐘 卓哉) D358  
 Ohigashi Tadayasu (大東 忠保) P344  
 Ohizumi Mitsuo (大泉 三津夫) A110  
 Ohno Yuichi (大野 裕一) B115  
 Ohta Mai (太田 真衣) D101  
 Ohtake Hideaki (大竹 秀明) P183  
 Ohtake Hideaki (大竹 秀明) P382  
 Ohyama Hirofumi (大山 博史) B357  
 Okada Masashi (岡田 将誌) P122  
 Okajima Hideki (岡島 秀樹) A366  
 Okamoto Hajime (岡本 創) D354  
 Okamoto Kota (岡本 功太) D206  
 Okamoto Kozo (岡本 幸三) B209  
 Okubo Sayuri (大久保 さゆり) A168
- Onogi Shigeru (小野木 茂) B102  
 Oota Katsuhisa (太田 克久) C312  
 Oouchi Kazuyoshi (大内 和良) B170  
 Origuchi Seiji (折口 征二) B212  
 Orikasa Narihiro (折笠 成宏) P340  
 Osada Kazuo (長田 和雄) D156  
 Ose Tomoaki (尾瀬 智昭) A101  
 Oshima Kazuhiro (大島 和裕) A361  
 Oshima Kazuhiro (大島 和裕) P317  
 Oshima Naga (大島 長) D159  
 Otsuka Kiyotoshi (大塚 清敏) P108  
 Otsuki Motoi (大月 基) P170  
 Oue Mariko (尾上 万里子) P143  
 Oyama Ryo (小山 亮) B166
- < R >  
 Rahmat Hidayat (ラーマット ヒダヤット) P319
- < S >  
 Sagawa Masato (佐川 正人) P167  
 Saito Atsushi (齋藤 篤思) P187  
 Saito Kazuo (斉藤 和雄) C168  
 Saito Kazuo (斉藤 和雄) P155  
 Saito Shutaro (齋藤 秀太郎) P177  
 Saitoh Naoko (齋藤 尚子) B366  
 Sakaizawa Daisuke (境澤 大亮) B359  
 Sakata Haruka (坂田 晴香) A162  
 Sakurai Namiko (櫻井 南海子) P148  
 Sakurai Namiko (櫻井 南海子) P149  
 Sano Tetsuya (佐野 哲也) P154  
 Sasaki Hidetaka (佐々木 秀孝) P325  
 Sato Hirotaka (佐藤 大卓) C366  
 Sato Kaori (佐藤 可織) B114  
 Sato Kazutoshi (佐藤 和敏) C362  
 Sato Kazutoshi (佐藤 一敏) P192  
 Sato Naoki (佐藤 尚毅) C355  
 Sato Tomonori (佐藤 友徳) A365  
 Sato Yousuke (佐藤 陽祐) P341  
 Satoh Shinsuke (佐藤 晋介) B109  
 Satou Eiichi (佐藤 英一) C158  
 Satou Eiichi (佐藤 英一) C166  
 Sawada Masahiro (沢田 雅洋) B163  
 Seiki Tatsuya (清木 達也) C207

- |                           |      |                          |      |                            |      |
|---------------------------|------|--------------------------|------|----------------------------|------|
| Seino Naoko (清野直子)        | P309 | Takenaka Hideaki (竹中栄晶)  | D356 | Watanabe Takeshi (渡邊武志)    | A153 |
| Seki Takanori (関隆則)       | P384 | Takigawa Masayuki (滝川雅之) | A208 | Wetchayont Parichat        | P194 |
| Sekiguchi Miho (関口美保)     | D355 | Tanaka Kenji (田中健路)      | A356 | Wu Peiming (伍培明)           | B155 |
| Seko Hiromu (瀬古弘)         | B215 | Tanaka Shota (田中翔太)      | P306 | < X >                      |      |
| Seko Hiromu (瀬古弘)         | P350 | Tanaka Taichu (田中泰宙)     | A211 | Xiao Feng (肖鋒)             | B203 |
| Seto Yoshihito (瀬戸芳一)     | P307 | Tanaka Taichu (田中泰宙)     | P165 | < Y >                      |      |
| Shige Shoichi (重尚一)       | C106 | Tanaka Tomoaki (田中智章)    | B356 | Yabu Shoukichi (藪将吉)       | P181 |
| Shiina Toru (椎名徹)         | P387 | Taniguchi Aina (谷口藍奈)    | P190 | Yagawa Akio (箭川昭生)         | C303 |
| Shimada Teruhisa (島田照久)   | A167 | Taniguchi Tomomi (谷口智美)  | P152 | Yamada Hiroyuki (山田広幸)     | A301 |
| Shimamoto Hitomi (島本瞳)    | D310 | Tanoue Masahiro (田上雅浩)   | B154 | Yamada Maromu (山田丸)        | P175 |
| Shimbori Toshiaki (新堀敏基)  | P158 | Tanoue Miyuki (田上みゆき)    | P353 | Yamada Yohei (山田洋平)        | A308 |
| Shimizu Atsushi (清水厚)     | D153 | Tatara Hideyo (多々良秀世)    | C313 | Yamada Yoshinori (山田芳則)    | C154 |
| Shimizu Hiromasa (清水宏将)   | C119 | Tochimoto Eigo (栃本英伍)    | C105 | Yamada Yoshinori (山田芳則)    | P356 |
| Shimizu Shingo (清水慎吾)     | P144 | Toda Motomu (戸田求)        | P330 | Yamaguchi Kosei (山口弘誠)     | C216 |
| Shimizu Shogo (清水昭吾)      | P105 | Tokuno Masami (徳野正己)     | P394 | Yamaguchi Munehiko (山口宗彦)  | B216 |
| Shimizu Toshinari (清水俊成)  | P372 | Touno Miwa (東野美和)        | P168 | Yamamoto Hiroki (山本博基)     | D110 |
| Shimose Ken-ichi (下瀬健一)   | C160 | Toyoda Tomohide (豊田友英)   | P140 | Yamamoto Kazuki (山本一輝)     | P133 |
| Shiogama Hideo (塩竈秀夫)     | A104 | Tsuboi Kazuhiro (坪井一寛)   | B351 | Yamamoto Masayuki (山本真之)   | P391 |
| Shiota Minako (塩田美奈子)     | C357 | Tsuchiya Chikara (土屋主税)  | D202 | Yamamoto Masayuki (山本真之)   | P392 |
| Shiotani Masato (塩谷雅人)    | D212 | Tsuguti Hiroshige (津口裕茂) | P153 | Yamamoto Masayuki (山本真之)   | P392 |
| Shiraishi Shouji (白石晶二)   | C307 | Tsujino Satoki (辻野智紀)    | A305 | Yamamoto Munehisa (山本宗尚)   | P343 |
| Shiratsu Fumiya (白津史也)    | P119 | Tsuruta Haruo (鶴田治雄)     | A203 | Yamasaki Masanori (山岬正紀)   | B164 |
| Shoji Yoshinori (小司禎教)    | B105 | Tsutsui Junichi (筒井純一)   | A307 | Yamashita Hazuki (山下はづき)   | P311 |
| Shrestha Dibas            | C112 | Tsuyuki Tadashi (露木義)    | B205 | Yamashita Katsuya (山下克也)   | C205 |
| Sueyoshi Masakazu (末吉雅和)  | A360 | < U >                    |      | Yamashita Yoshitaka (山下吉隆) | P313 |
| Sugi Masato (杉正人)         | A311 | Uchino Osamu (内野修)       | D169 | Yamashita Yousuke (山下陽介)   | D211 |
| Sugimoto Norihiko (杉本憲彦)  | D104 | Uchiyama Akihiro (内山明博)  | D353 | Yamato Hiroaki (大和広明)      | P106 |
| Sugimoto Shusaku (杉本周作)   | C352 | Ueda Hiroaki (植田宏昭)      | A362 | Yamauchi Hiroshi (山内洋)     | B108 |
| Sugiyama Akira (杉山聡)      | P320 | Ueki Ayano (植木綾乃)        | P348 | Yamaue Kazuhiro (山上和浩)     | P393 |
| Suzuki Kazue (鈴木香寿恵)      | B305 | Uekiyo Naotaka (上清直隆)    | B207 | Yamazaki Akihiro (山崎明宏)    | P376 |
| Suzuki Makoto (鈴木睦)       | D166 | Uematsu Keiji (植松恵司)     | D105 | Yamazaki Hiroe (山崎弘恵)      | B204 |
| Suzuki Osamu (鈴木修)        | P354 | Uesawa Daisaku (上沢大作)    | B208 | Yanase Wataru (柳瀬亘)        | P336 |
| Suzuki Satoshi (鈴木聡)      | P141 | Uno Fumichika (宇野史睦)     | P184 | Yang Yue (楊悦)              | A156 |
| Suzuki Yasushi (鈴木靖)      | A213 | Unuma Takashi (鵜沼昂)      | C101 | Yasaka Akinori (八坂陽範)      | P102 |
| < T >                     |      | Ura Sachiko (浦幸帆)        | D155 | Yasuda Takashi (安田孝志)      | P157 |
| Tabata Dan (田畑弾)          | P302 | Ushiyama Tomoki (牛山朋来)   | B106 | Yasuda Tamaki (安田珠幾)       | A351 |
| Tachiiri Kaoru (立入郁)      | A109 | < W >                    |      | Yasuda Tomomi (安田倫己)       | P385 |
| Tajiri Takuya (田尻拓也)      | P139 | Wada Akiyoshi (和田章義)     | C360 | Yasuda Yuuki (安田勇輝)        | D103 |
| Takahashi Nobuhiro (高橋暢宏) | C111 | Wada Akiyoshi (和田章義)     | P335 | Yasunari Teppei J. (安成哲平)  | A353 |
| Takahashi Nobuto (高橋信人)   | P117 | Wakazuki Yasutaka (若月泰孝) | A105 | Yasunari Teppei J. (安成哲平)  | D160 |
| Takakura Noriko (高倉典子)    | P362 | Watanabe Akira (渡邊明)     | A201 | Yogai Toshiro (用貝敏郎)       | C170 |
| Takayabu Izuru (高薮出)      | A107 | Watanabe Koichi (渡辺幸一)   | P166 | Yokohata Tokuta (横島徳太)     | A102 |
| Takemi Tetsuya (竹見哲也)     | A206 | Watanabe Koichi (渡辺幸一)   | P366 | Yokoi Satoru (横井覚)         | A304 |

Yokoo Yoshiaki ( 横尾 好朗 )	B370
Yokota Sho ( 横田 祥 )	B160
Yoshida Nobuo ( 吉田 信夫 )	A169
Yoshida Ryuhei ( 吉田 龍平 )	P381
Yoshida Ryuji ( 吉田 龍二 )	B157
Yoshida Syo ( 吉田 翔 )	C163
Yoshida Yukio ( 吉田 幸生 )	B364
Yoshikura Tomomi ( 吉倉 智美 )	P308
Yoshimura Atsushi ( 吉村 淳 )	B159
Yoshioka Mayumi ( 吉岡 真由美 )	A302
Yoshizaki Masanori ( 吉崎 正憲 )	B169
Yoshizaki Masanori ( 吉崎 正憲 )	C117
Yoshizaki Sanae ( 吉崎 早苗 )	P367
Yuasa Saki ( 湯浅 早希 )	D308
Yuda Yuki ( 湯田 有希 )	P333
Yumimoto Keiya ( 弓本 桂也 )	D172
Yuyama Yoichi ( 柚山 洋一 )	P164

## &lt; Z &gt;

Zaizen Yuji ( 財前 祐二 )	P173
-----------------------	------